

令和7年度岡山県3R等に関する  
ウェブアンケート調査報告書

岡山県

令和8年3月



# 目次

I 調査概要 .....	1
1. 調査方法 .....	1
2. 回答者属性 .....	1
3. 調査実施期間 .....	1
II 調査結果 .....	2
1. 海ごみ問題について .....	2
2. プラスチックごみについて .....	22
3. 食品ロスについて .....	36
4. エコ製品について .....	49



# 令和7年度岡山県3R等に関するウェブアンケート調査

## I 調査概要

### 1. 調査方法

インターネットモニターを利用したWEBアンケート調査

### 2. 回答者属性

・本調査対象:1,260 サンプル

・岡山県内の地域に居住する 15-79 歳の男女

・地域区分は、次の単位とする。

①都市部(岡山市、倉敷市)

②沿岸部(玉野市、笠岡市、備前市、瀬戸内市、浅口市)

③内陸部(上記以外岡山県内 20 市町村)

・割付:各地域区分ごとに概ね男女 200 ずつとなるように割付を行った。

### 回答者属性詳細

#### (1)性別

	男性	女性	合計
回答数(人)	639	621	1,260
割合(%)	50.7	49.3	100.0

#### (2)年代別

	10-20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
回答数(人)	147	222	261	332	298	1,260
割合(%)	11.7	17.6	20.7	26.3	23.7	100.0

#### (3)地域別

	都市部	沿岸部	内陸部	合計
回答数(人)	475	352	433	1,260
割合(%)	37.7	27.9	34.4	100.0

### 3. 調査実施期間

令和8年1月29日(木)~2月9日(月)

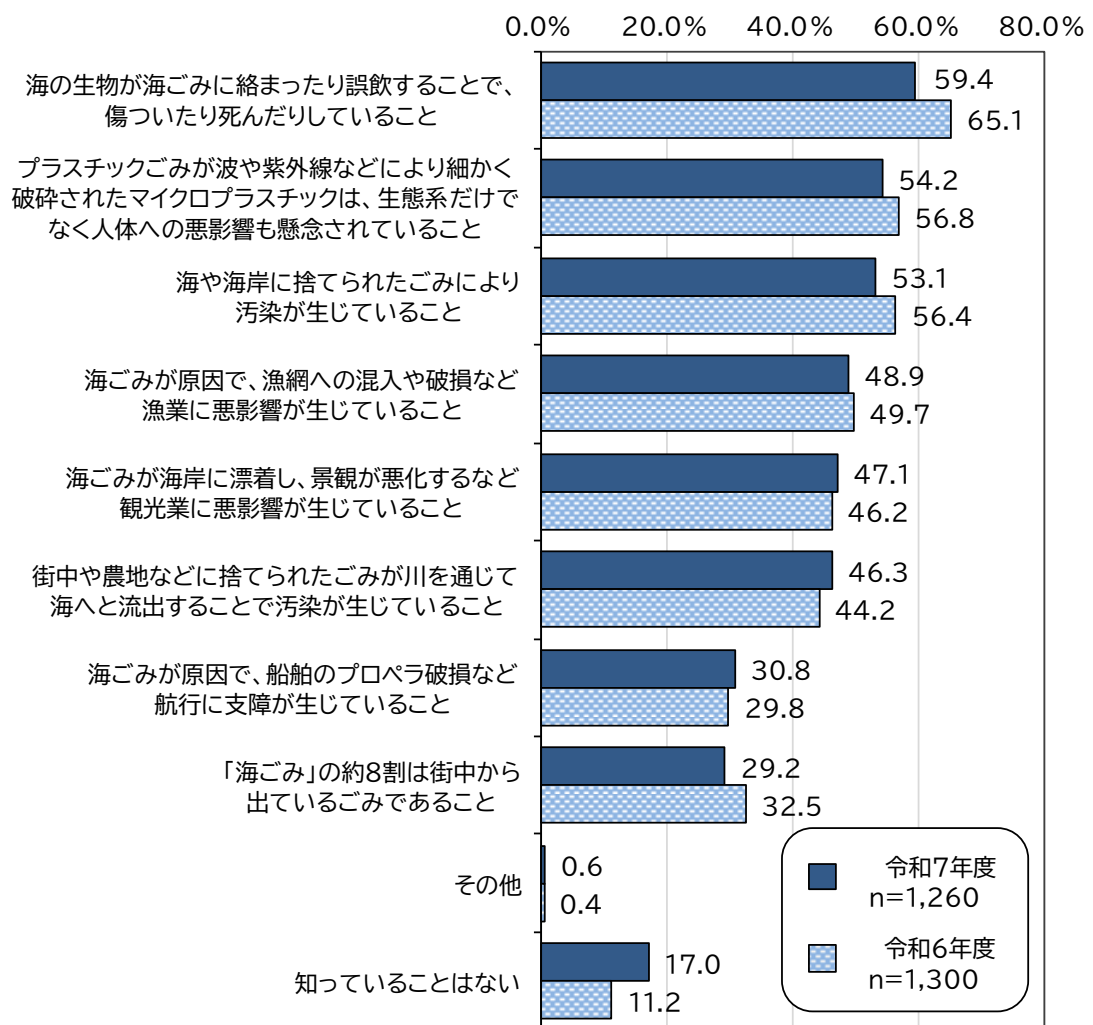
(備考)合計数値は、四捨五入の関係で、図表中の数値の合計と一致しない場合がある。

## II 調査結果

### 1. 海ごみ問題について

問1. あなたは海ごみ問題について、どのようなことを知っていますか。(複数回答)

海ごみ問題に関して知っていることについて、「海の生物が海ごみに絡まったり誤飲することで、傷ついたり死んだりしていること」と回答した人の割合が 59.4%と最も高く、次いで「プラスチックごみが波や紫外線などにより細かく破碎されたマイクロプラスチックは、生態系だけでなく人体への悪影響も懸念されていること」(54.2%)、「海や海岸に捨てられたごみにより汚染が生じていること」(53.1%)などの順となっている。



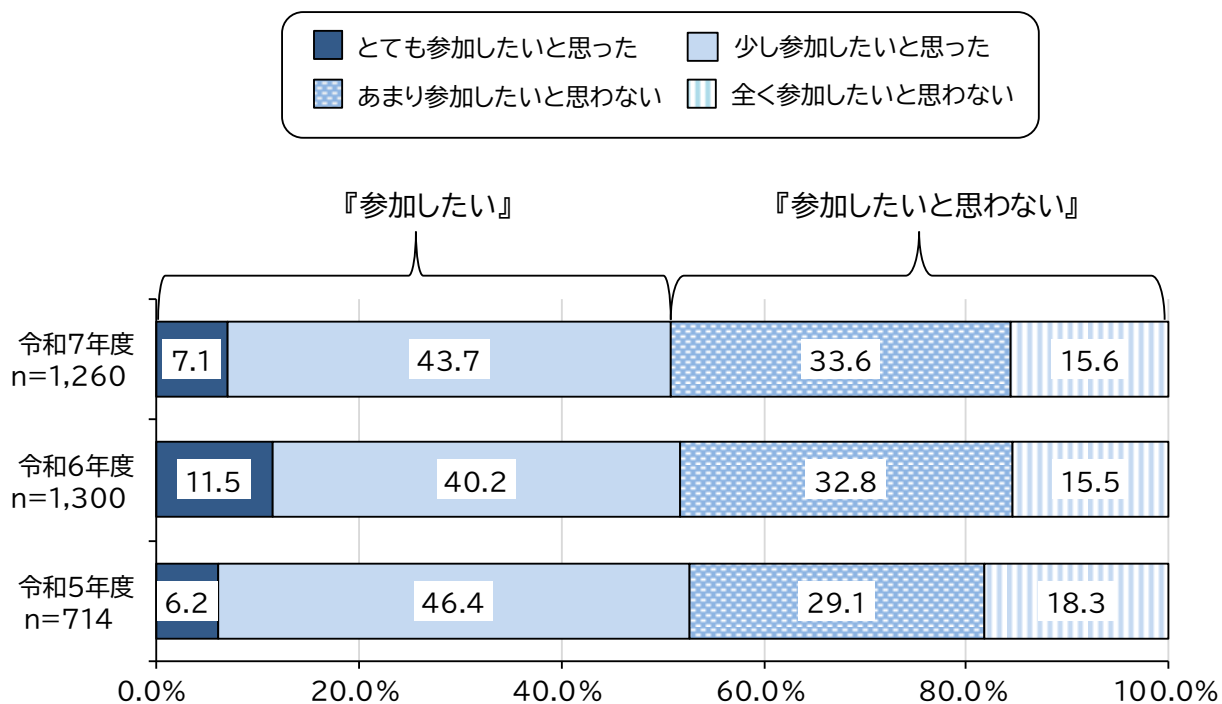
地域別にみると、「プラスチックごみが波や紫外線などにより細かく破碎されたマイクロプラスチックは、生態系だけでなく人体への悪影響も懸念されていること」と回答した人の割合は都市部と沿岸部では15ポイント程度の差があった。

問1 海ごみ問題に関して知っていること									
	海の生物が海ごみに絡まったり誤飲することで、傷ついたり死んだりしていること	プラスチックごみが波や紫外線などにより細かく破碎されたマイクロプラスチックは、生態系だけでなく人体への悪影響も懸念されていること	海や海岸に捨てられたごみにより汚染が生じていること	海ごみが原因で、漁網への混入や破損など漁業に悪影響が生じていること	海ごみが海岸に漂着し、景観が悪化するなど観光業に悪影響が生じていること	街中や農地などに捨てられたごみが川を通じて海へと流出することで汚染が生じていること	海ごみが原因で、船舶のプロペラ破損など航行に支障が生じていること	「海ごみ」の約8割は街中から出ていること	
全体	1,260 100.0	748 59.4	683 54.2	669 53.1	616 48.9	593 47.1	583 46.3	388 30.8	368 29.2
都市部	475 100.0	259 54.5	222 46.7	230 48.4	209 44.0	196 41.3	197 41.5	126 26.5	126 26.5
沿岸部	352 100.0	230 65.3	217 61.6	200 56.8	187 53.1	181 51.4	192 54.5	125 35.5	109 31.0
内陸部	433 100.0	259 59.8	244 56.4	239 55.2	220 50.8	216 49.9	194 44.8	137 31.6	133 30.7

問1 海ごみ問題に関して知っていること			
	その他	知っていることはない	
全体	1,260 100.0	7 0.6	214 17.0
都市部	475 100.0	1 0.2	110 23.2
沿岸部	352 100.0	1 0.3	40 11.4
内陸部	433 100.0	5 1.2	64 14.8

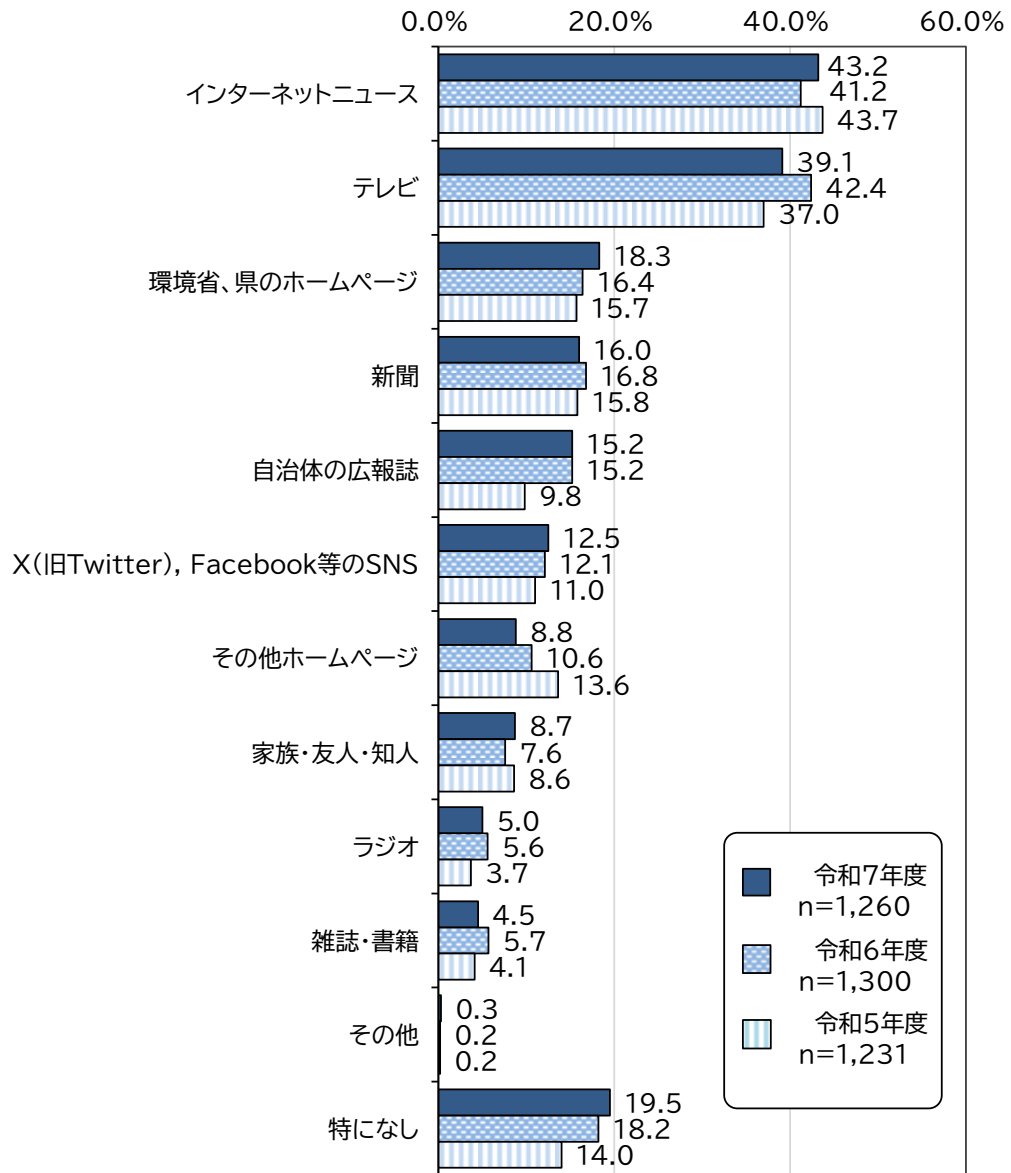
問2. 海ごみの約8割は街中から出ていると知り、あなたは今後、河川、用水路、海岸等での清掃活動に参加したいと思いましたか。(単数回答)

海ごみの約8割は街中から出ていると知り、今後、河川、用水路、海岸等での清掃活動参加意向について、『参加したい』(「とても参加したいと思った」と「少し参加したいと思った」を合わせた割合)と回答した人の割合が50.8%、『参加したいと思わない』(「全く参加したいと思わない」と「あまり参加したいと思わない」を合わせた割合)と回答した人の割合が49.2%となっている。



問3. あなたは海ごみ問題に関して知りたいと思ったとき、どのような媒体から情報を得ようと思いますか。(複数回答)

海ごみ問題に関して知りたいと思ったときに情報を得ようとする媒体について、「インターネットニュース」と回答した人の割合が43.2%と最も高く、次いで「テレビ」(39.1%)が続いている。



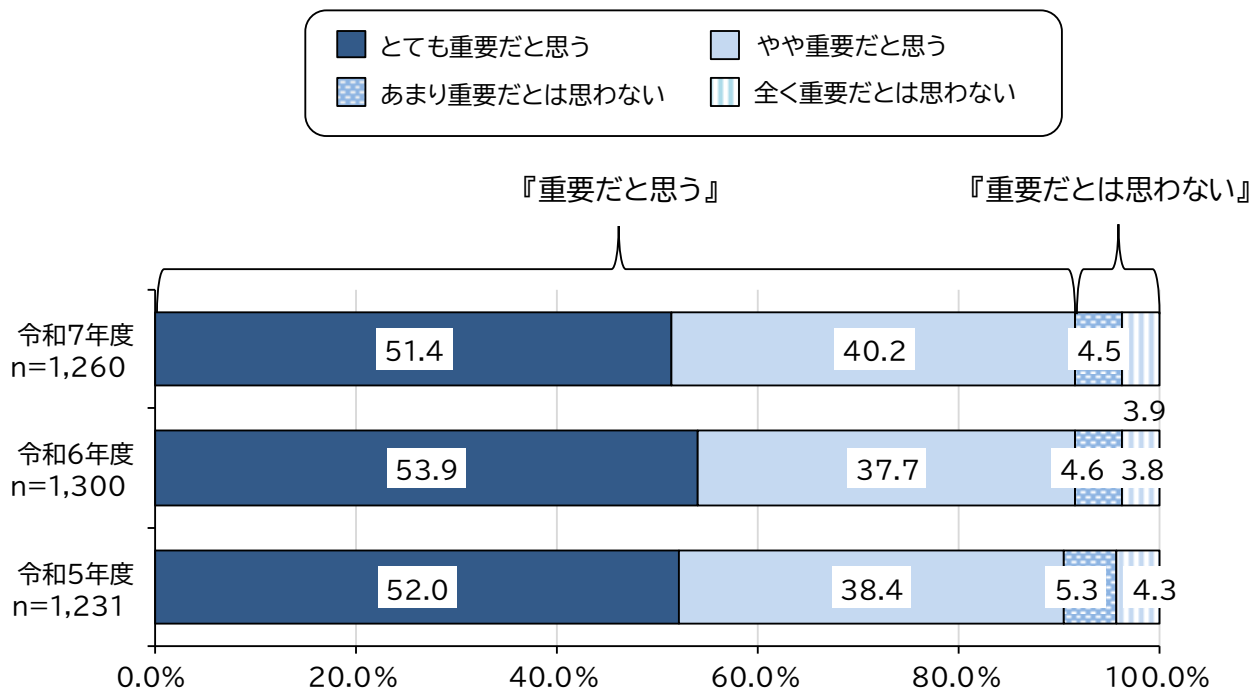
海ごみの情報の入手媒体は目立った地域差は見られなかった。

問3 海ごみ問題に関して知りたいと思ったときに情報を得ようとする媒体										
	インターネット ニュース	テレビ	環境省、県 のホームページ	新聞	自治体の広 報誌	X (旧 Twitter) , Facebook 等のSNS	その他ホー ムページ	家族・友 人・知人		
全体	1,260 100.0	544 43.2	493 39.1	231 18.3	201 16.0	191 15.2	157 12.5	111 8.8	109 8.7	
都市部	475 100.0	183 38.5	167 35.2	96 20.2	62 13.1	62 13.1	62 13.1	42 8.8	46 9.7	
沿岸部	352 100.0	164 46.6	149 42.3	64 18.2	68 19.3	70 19.9	44 12.5	27 7.7	26 7.4	
内陸部	433 100.0	197 45.5	177 40.9	71 16.4	71 16.4	59 13.6	51 11.8	42 9.7	37 8.5	

問3 海ごみ問題に関して知りたいと思ったときに情報を得ようとする媒体					
	ラジオ	雑誌・書籍	その他	特になし	
全体	1,260 100.0	63 5.0	57 4.5	4 0.3	246 19.5
都市部	475 100.0	23 4.8	18 3.8	4 0.8	115 24.2
沿岸部	352 100.0	14 4.0	22 6.3	0 0.0	54 15.3
内陸部	433 100.0	26 6.0	17 3.9	0 0.0	77 17.8

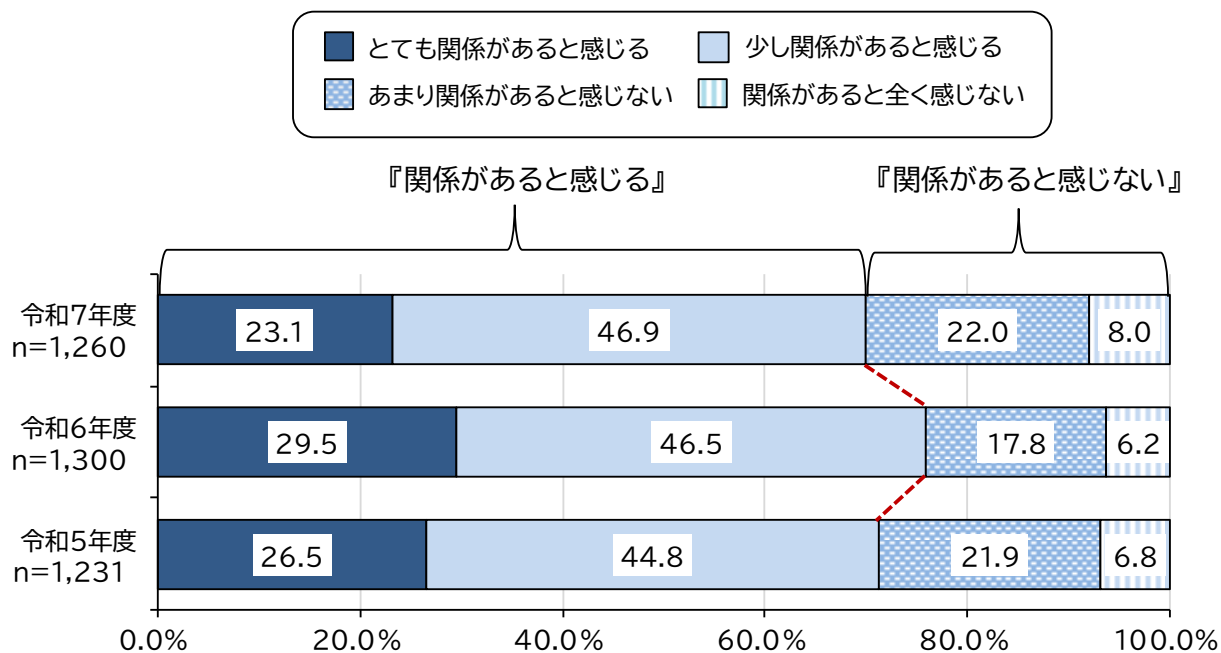
問4. あなたは、「海ごみ問題」に対処することを重要だと考えますか。(単数回答)

「海ごみ問題」に対処することの重要性について、『重要だと思う』(「とても重要だと思う」と「やや重要だと思う」を合わせた割合)と回答した人の割合が 91.6%、『重要だとは思わない』(「全く重要だとは思わない」と「あまり重要だとは思わない」を合わせた割合)と回答した人の割合が 8.4%となっており、『重要だと思う』と回答した人の割合は令和 6 年度調査と変わらない。



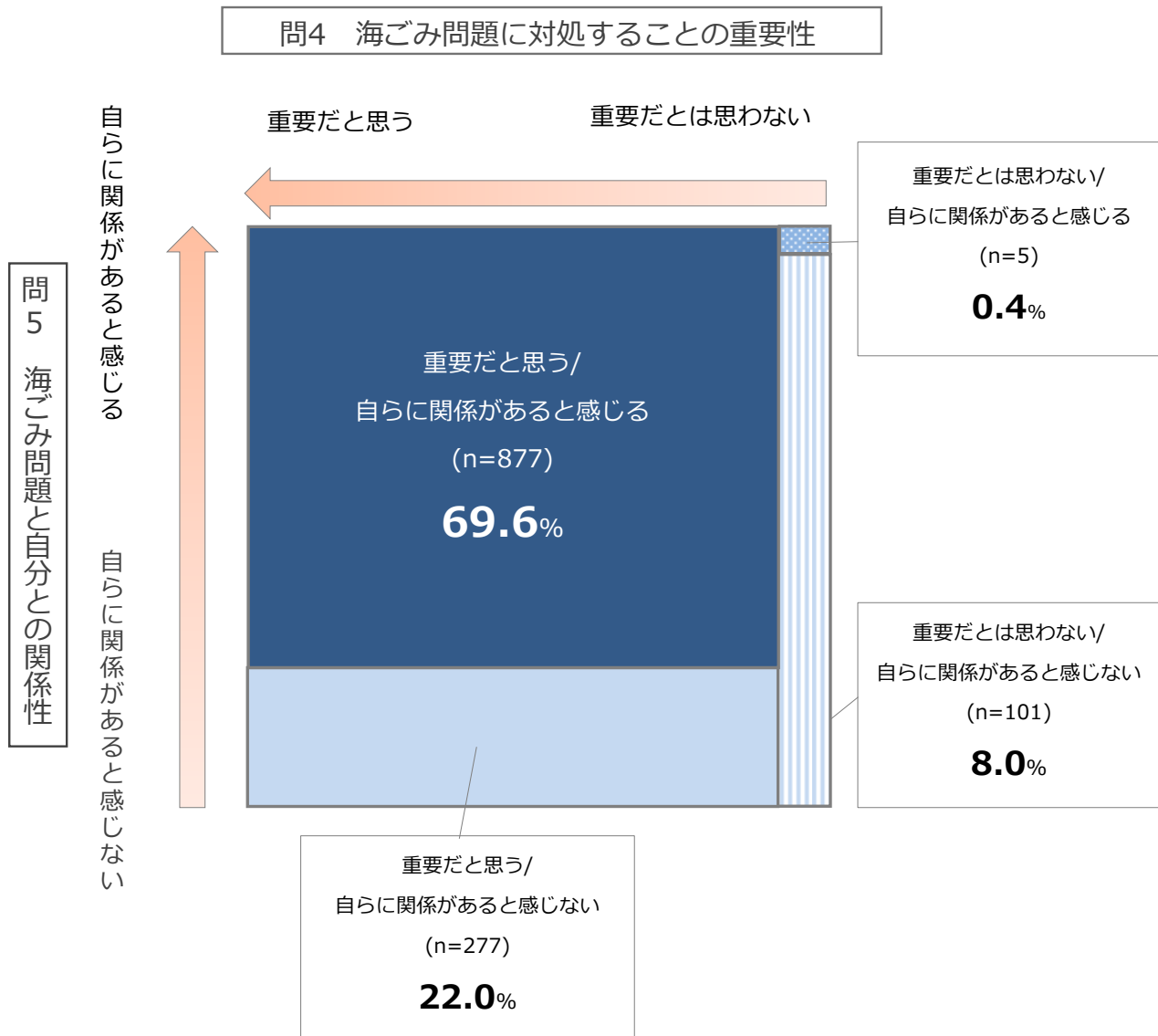
問5. あなたは、「海ごみ問題」について自分に関係があると感じますか。(単数回答)

「海ごみ問題」と自分との関係性について、『関係があると感じる』(「とても関係があると感じる」と「少し関係があると感じる」を合わせた割合)と回答した人の割合が 70.0%、『関係があると感じない』(「関係があると感じない」と「あまり関係があると感じない」を合わせた割合)と回答した人の割合が 30.0%となっており、『関係があると感じる』と回答した人の割合は令和 5 年度調査及び令和 6 年度調査のいずれよりも低い。



【参考】海ごみ問題に対処することは重要であり、自らに関係のある問題であると認識している県民の割合

海ごみ問題に対処することは重要であり、自らに関係のある問題であると認識している県民の割合について、「重要だと思っており、自らに関係があると感じている県民」が 69.6%、「重要だとは思っているが、自らに関係があるとは感じていない県民」が 22.0%、「重要だとは思っていないが、自らに関係があると感じている県民」が 0.4%、「重要だと思っておらず、関係があるとも感じていない県民」が 8.0%となっている。

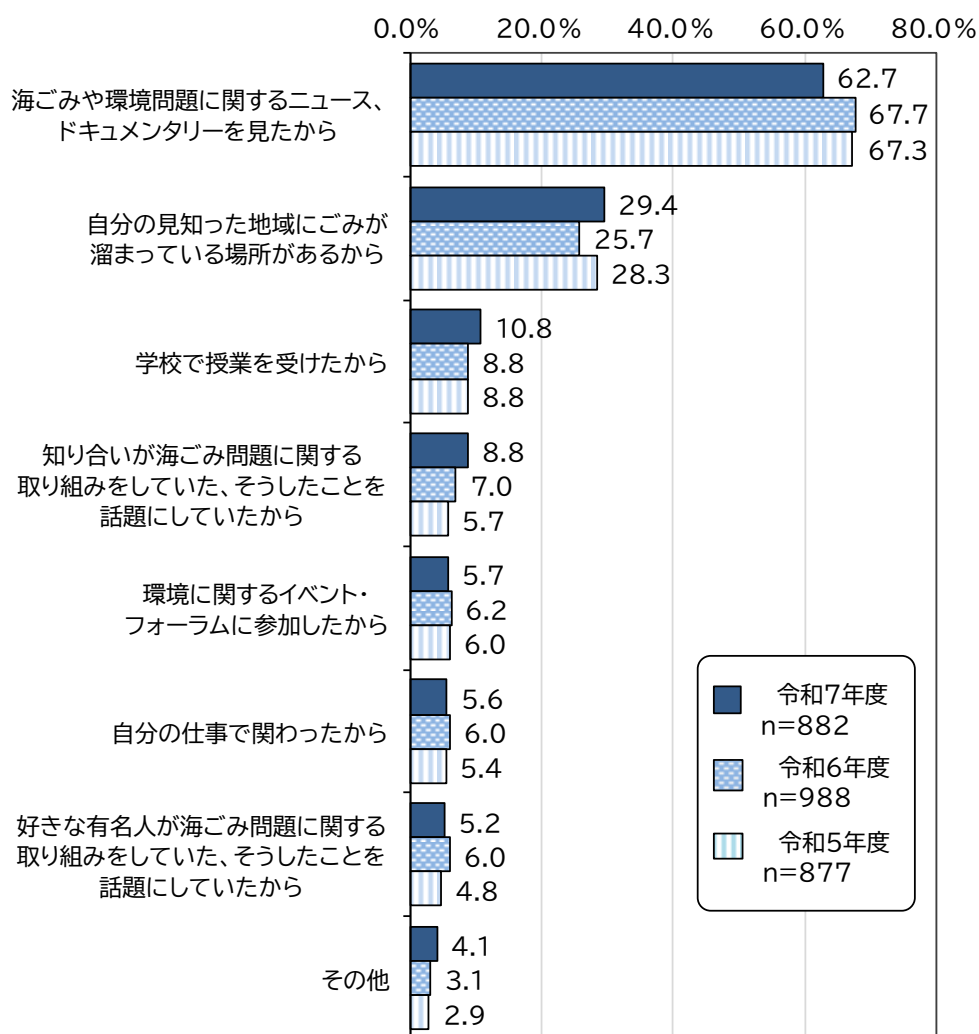


- ※1 「重要だと思う」とは、問4で海ごみ問題に対処することについて「とても重要だと思う」「やや重要だと思う」と回答した人
- ※2 「重要だとは思わない」とは、問4で海ごみ問題に対処することについて「あまり重要だとは思わない」「全く重要だとは思わない」と回答した人
- ※3 「自らに関係があると感じる」とは、問5で海ごみ問題と自分との関係について「とても関係があると感じる」「少し関係があると感じる」と回答した人
- ※4 「自らに関係があると感じない」とは、問5で海ごみ問題と自分との関係について「あまり関係があると感じない」「関係があると全く感じない」と回答した人

問6.「海ごみ問題」について自分が関係があると思ったきっかけを下記の中から当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

※n=問5で『関係があると感じる』と回答した人

「海ごみ問題」が自分に関係があると思ったきっかけについて、「海ごみや環境問題に関するニュース、ドキュメンタリーを見たから」と回答した人の割合が62.7%と最も高く、次いで「自分の見知った地域にごみが増えている場所があるから」(29.4%)が続いている。

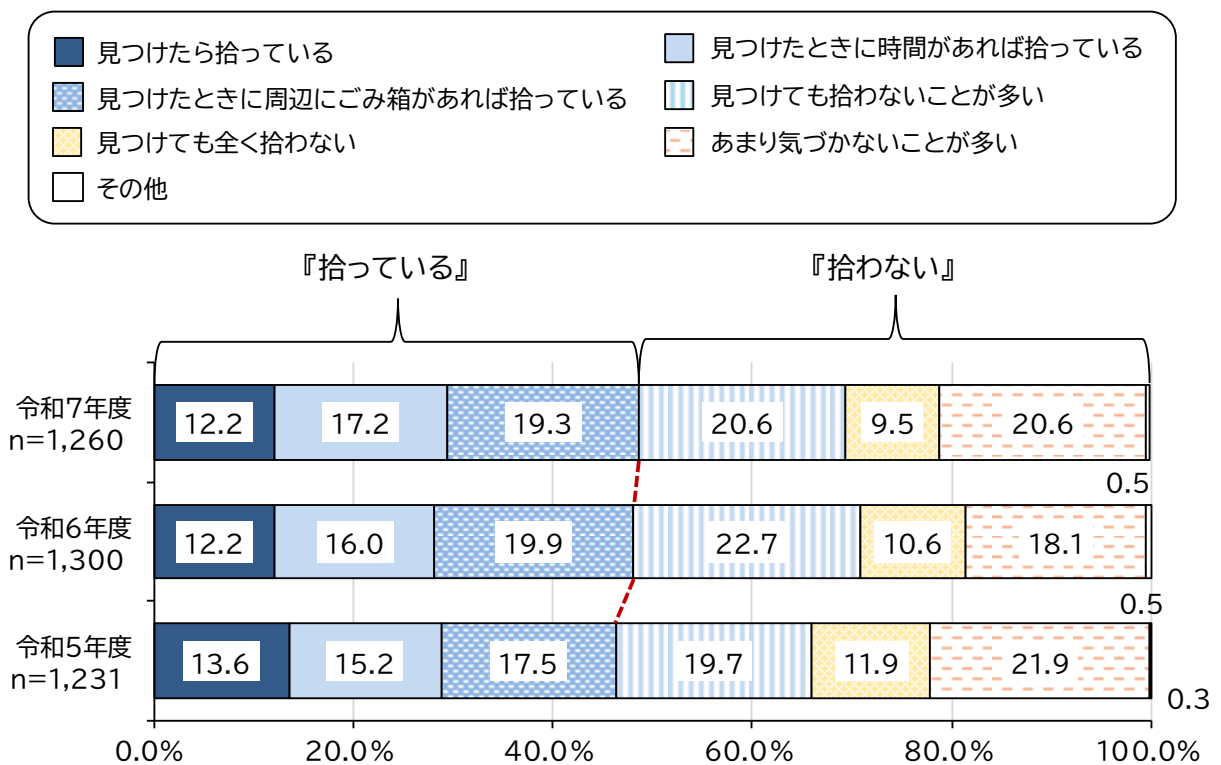


地域別にみると、「自分の見知った地域にごみが溜まっている場所がある」と回答した人の割合は内陸部で 2 割台、都市部・沿岸部で 3 割台と地域差が見られる。

		問6 「海ごみ問題」が自分に関係があったきっかけ								
		海ごみや環境問題に関するニュース、ドキュメンタリーを見たから	自分の見知った地域にごみが溜まっている場所があるから	学校で授業を受けたから	知り合いが海ごみ問題に関する取り組みをしていた、そうしたことを話題にしていたから	環境に関するイベント・フォーラムに参加したから	自分の仕事で関わったから	好きな有名人が海ごみ問題に関する取り組みをしていた、そうしたことを話題にしていたから	その他	
全体	882	553	259	95	78	50	49	46	36	
	100.0	62.7	29.4	10.8	8.8	5.7	5.6	5.2	4.1	
都市部	324	195	104	53	31	19	17	18	6	
	100.0	60.2	32.1	16.4	9.6	5.9	5.2	5.6	1.9	
沿岸部	256	158	94	15	26	17	24	8	11	
	100.0	61.7	36.7	5.9	10.2	6.6	9.4	3.1	4.3	
内陸部	302	200	61	27	21	14	8	20	19	
	100.0	66.2	20.2	8.9	7.0	4.6	2.6	6.6	6.3	

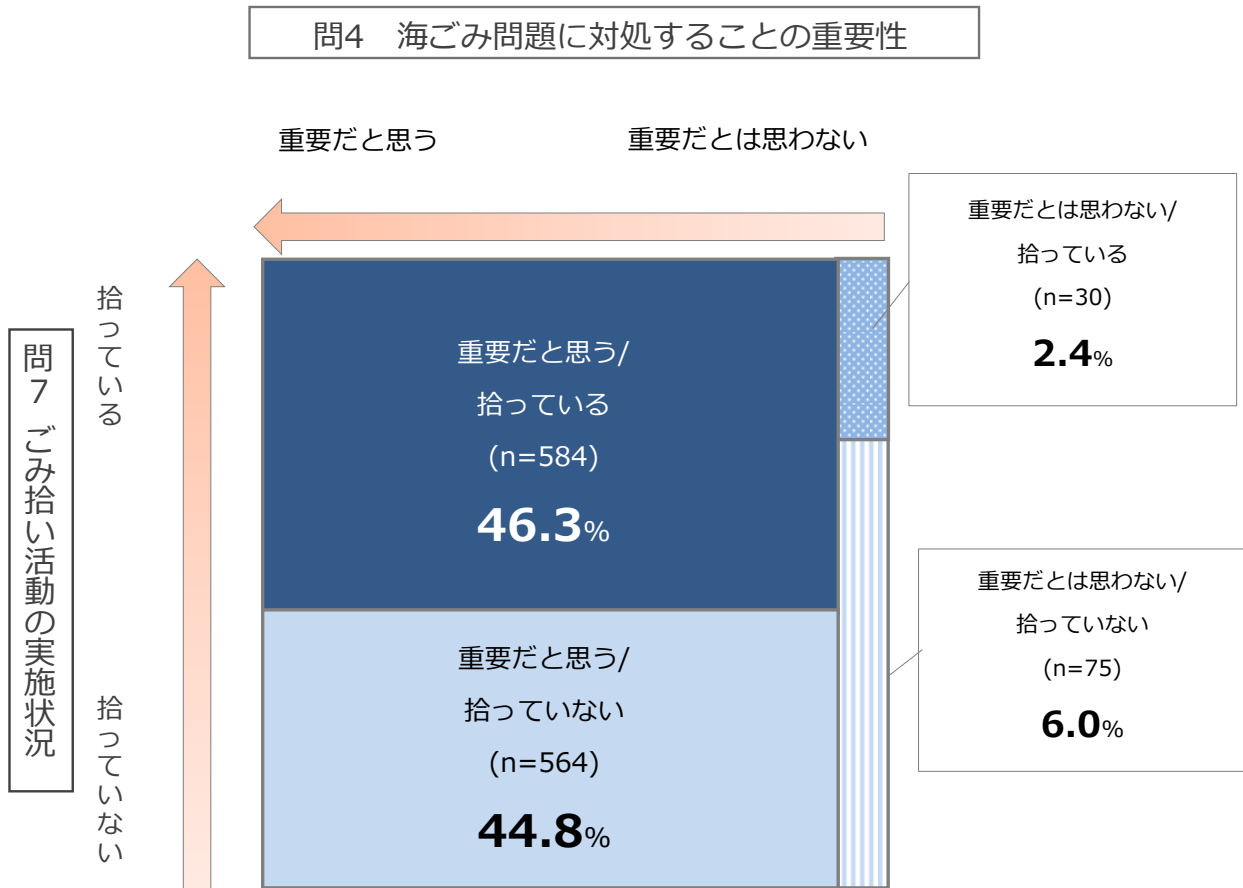
問7. 街中や河川敷などのごみについて、あなたの行動に最も当てはまるものをお答えください。  
 (清掃活動以外)(単数回答)

街中や河川敷などのごみについて、『拾っている』(「見つけたら拾っている」、「見つけたときに時間があれば拾っている」、「見つけたときに周辺にごみ箱があれば拾っている」を合わせた割合)が48.7%、『拾わない』(「見つけても全く拾わない」、「見つけても拾わないことが多い」、「あまり気づかないことが多い」を合わせた割合)が50.7%となっている。



【参考】海ごみ問題に対処することは重要とっており、ごみ拾い活動も行っている県民の割合

海ごみ問題に対処することは重要とっており、ごみ拾い活動も行っている県民の割合について、「重要だと思っており、ごみ拾い活動も行っている県民」が 46.3%、「重要だとは思っているが、ごみ拾い活動は行っていない県民」が 44.8%、「重要だとは思っていないが、ごみ拾い活動は行っている県民」が 2.4%、「重要だと思っておらず、ごみ拾い活動も行っていない県民」が 6.0%となっている。

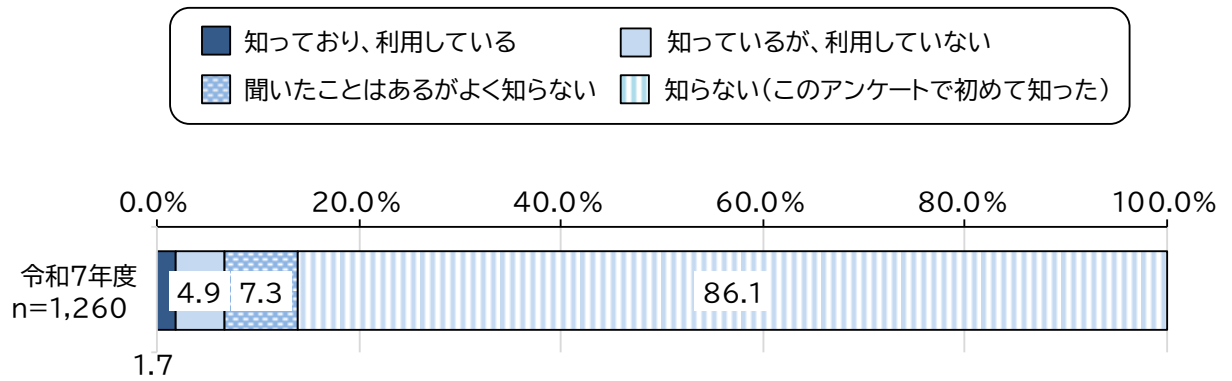


- ※1 「重要だと思おう」とは、問4で海ごみ問題に対処することについて「とても重要だと思おう」「やや重要だと思おう」と回答した人
- ※2 「重要だとは思わない」とは、問4で海ごみ問題に対処することについて「あまり重要だとは思わない」「全く重要だとは思わない」と回答した人
- ※3 「拾っている」とは、問7で街中や河川敷などのごみについて「見つけたら拾っている」「見つけたときに時間があれば拾っている」「見つけたときに周辺にごみ箱があれば拾っている」と回答した人
- ※4 「拾っていない」とは、問7で街中や河川敷などのごみについて「見つけても拾わないことが多い」「見つけても全く拾わない」「あまり気づかないことが多い」と回答した人

問8. ごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」※を知っていますか。(単数回答)

※ごみ拾い活動の様子を投稿することで、利用者間での交流や世界中へ活動状況を発信できる無料のSNSサービス

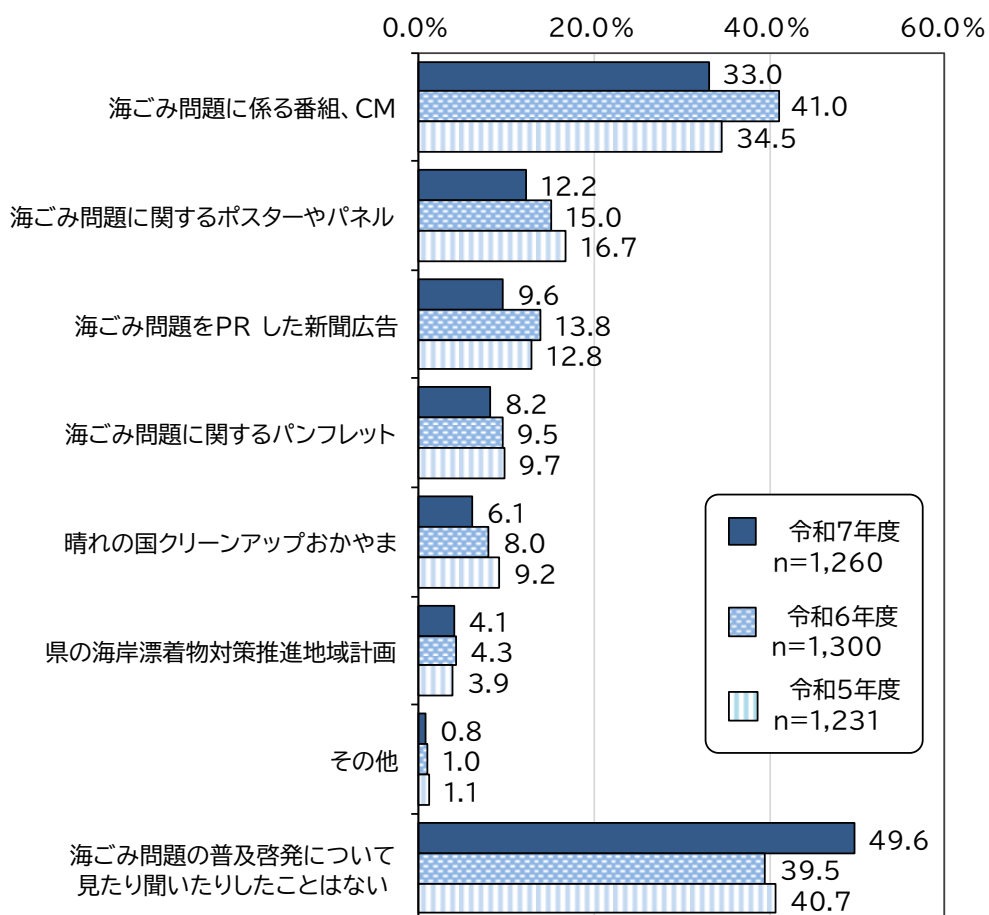
街ごみ拾い SNS「ピリカ」の認知について、「知らない」が 86.1%となった。



問9. あなたは、次の海ごみ問題の普及啓発について見たり聞いたりしたことはありますか。

(複数回答)

海ごみ問題の普及啓発に関して見聞きしたことがある人のうち、「海ごみ問題に係る番組、CM」と回答した人の割合が33.0%と最も高く、次いで「海ごみ問題に関するポスターやパネル」(12.2%)の順となっている。



海ごみ問題の普及啓発の接触について、地域別に目立った差は見られなかった。

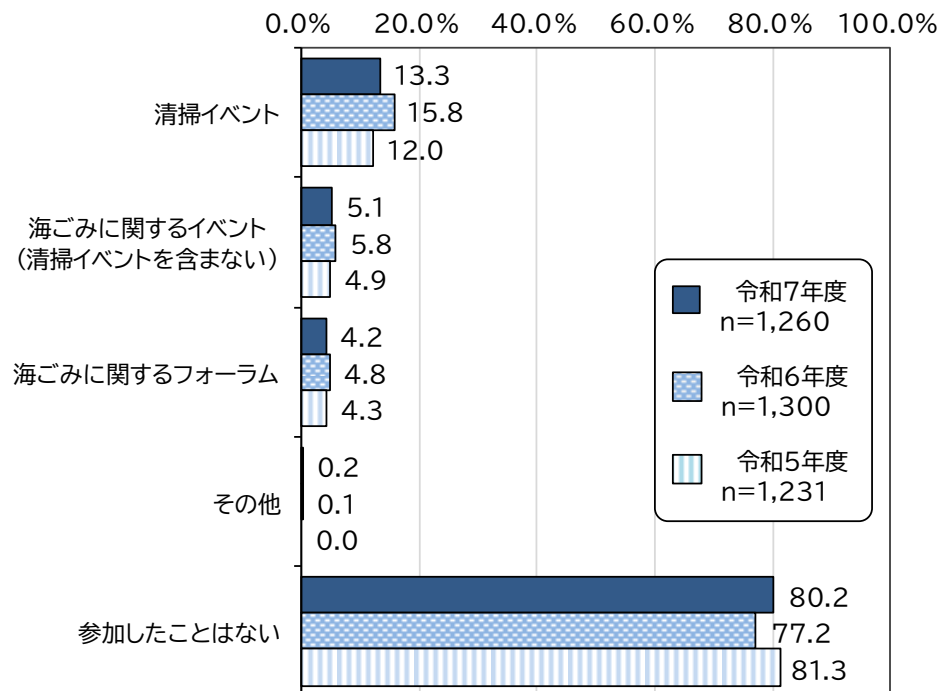
問9 海ごみ問題の普及啓発に関して見聞きしたことがあること									
	海ごみ問題に係る番組、CM	海ごみ問題に関するポスターやパネル	海ごみ問題をPRした新聞広告	海ごみ問題に関するパンフレット	晴れの国クリーンアップおかやま	県の海岸漂着物対策推進地域計画	その他	海ごみ問題の普及啓発について見たり聞いたりしたことはない	
<b>全体</b>	1,260 100.0	416 33.0	154 12.2	121 9.6	103 8.2	77 6.1	52 4.1	10 0.8	625 49.6
<b>都市部</b>	475 100.0	141 29.7	54 11.4	35 7.4	45 9.5	26 5.5	19 4.0	4 0.8	257 54.1
<b>沿岸部</b>	352 100.0	128 36.4	51 14.5	44 12.5	24 6.8	21 6.0	15 4.3	1 0.3	156 44.3
<b>内陸部</b>	433 100.0	147 33.9	49 11.3	42 9.7	34 7.9	30 6.9	18 4.2	5 1.2	212 49.0

問10. あなたは、次のような海ごみ問題の普及啓発について参加したことはありますか。

(複数回答)

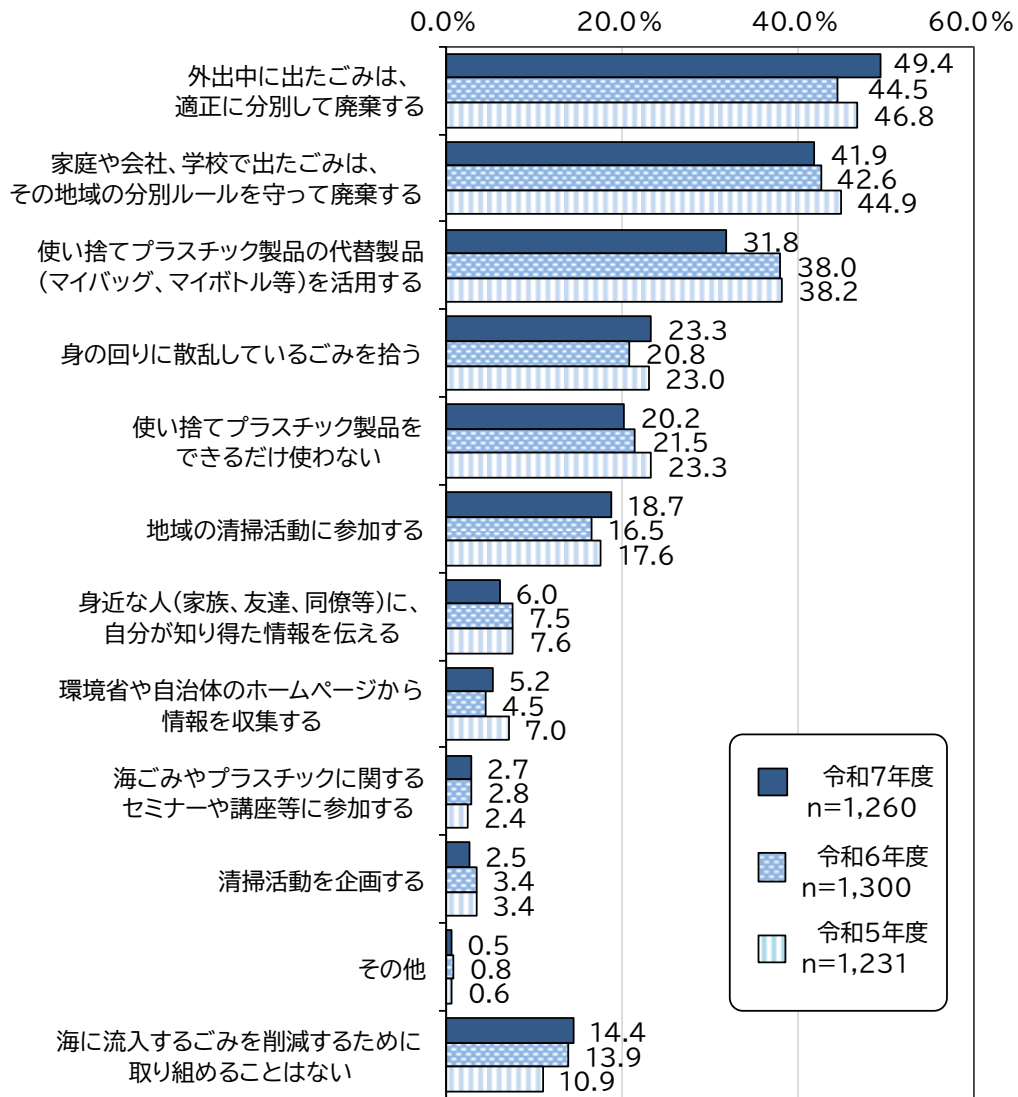
海ごみ問題の普及啓発への参加経験について、「参加したことはない」と回答した人の割合は80.2%となった。

各イベントに参加したことがある人では「清掃イベント」と回答した人の割合が13.3%と最も高くなっている。



問11. 海に流入するごみを削減するために、あなたが取り組みそうなものを3つまでお答えください。(複数回答)

海に流入するごみを削減するために取り組みそうなものについて、「外出中に出たごみは、適正に分別して廃棄する」と回答した人の割合が49.4%と最も高く、次いで「家庭や会社、学校で出たごみは、その地域の分別ルールを守って廃棄する」(41.9%)などの順となっている。

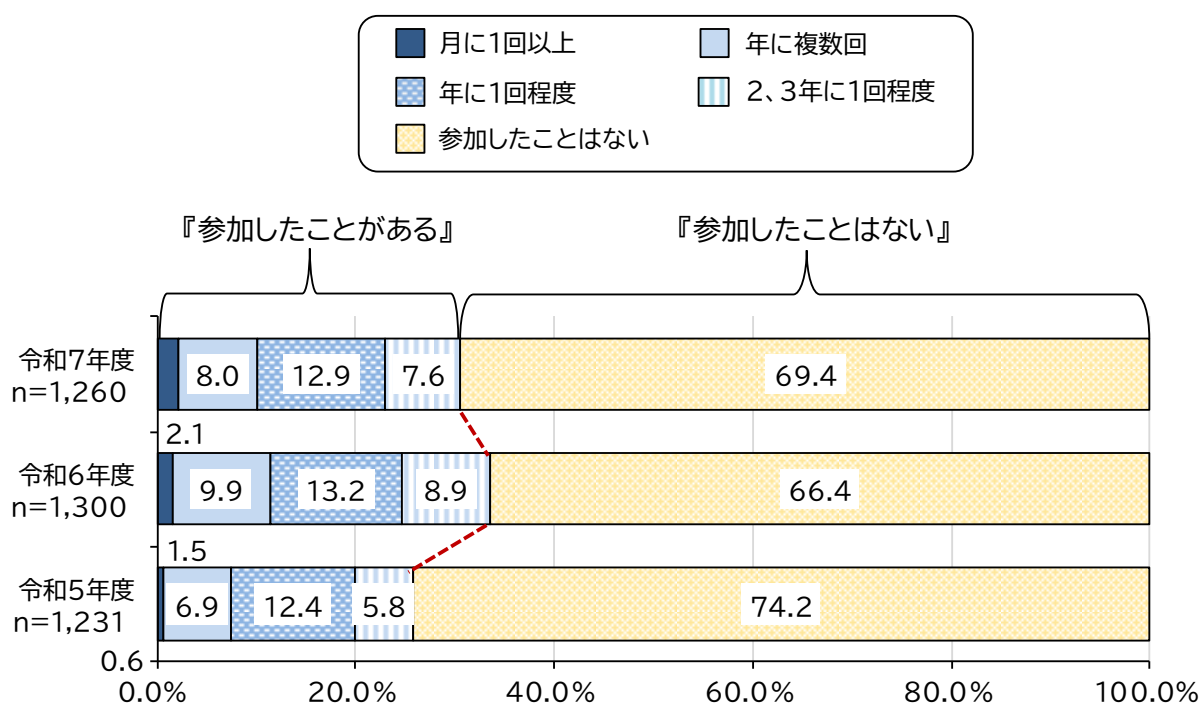


問12. あなたは、どの程度の頻度で河川、用水路、海岸等での清掃活動に参加していますか。

(単数回答)

河川、用水路、海岸等での清掃活動への参加頻度について、「参加したことはない」と回答した人の割合が69.4%と最も高くなっている。

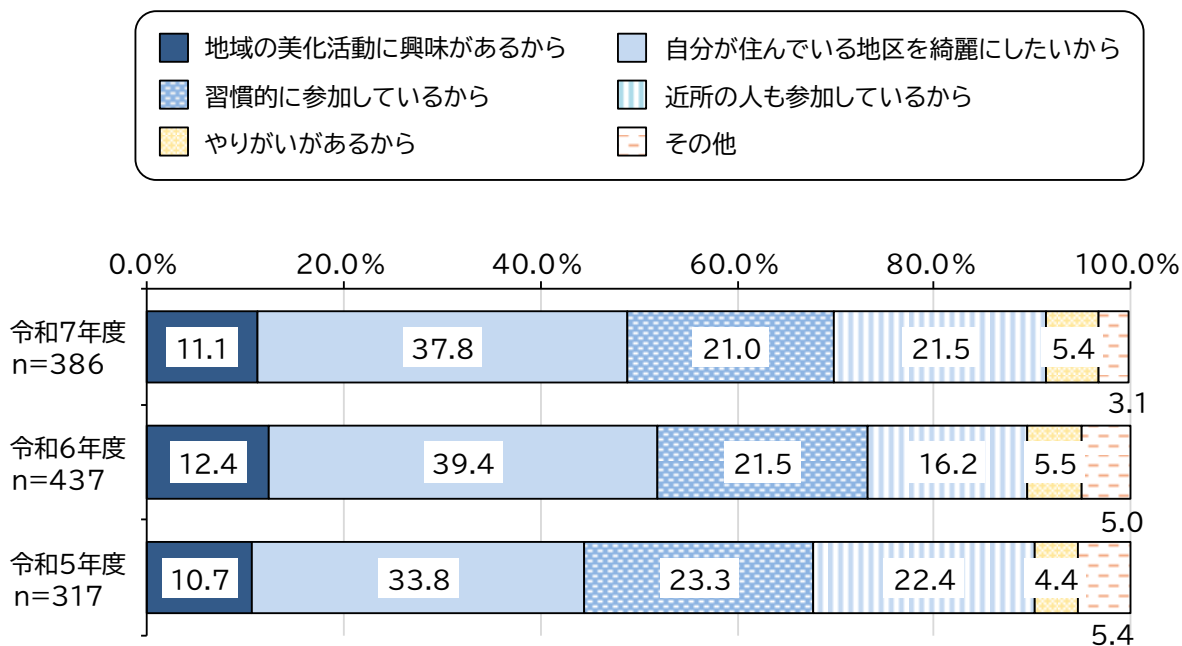
経年比較をすると「月に1回以上」清掃活動へ参加したことがある人の割合は令和5年度調査から今回調査にかけて上昇傾向がみられる一方で、清掃活動へ参加したことがある人の割合は令和6年度調査から今回調査にかけて減少している。



問13. あなたが清掃活動に参加する理由として最もあてはまるものをお答えください。  
 (単数回答)

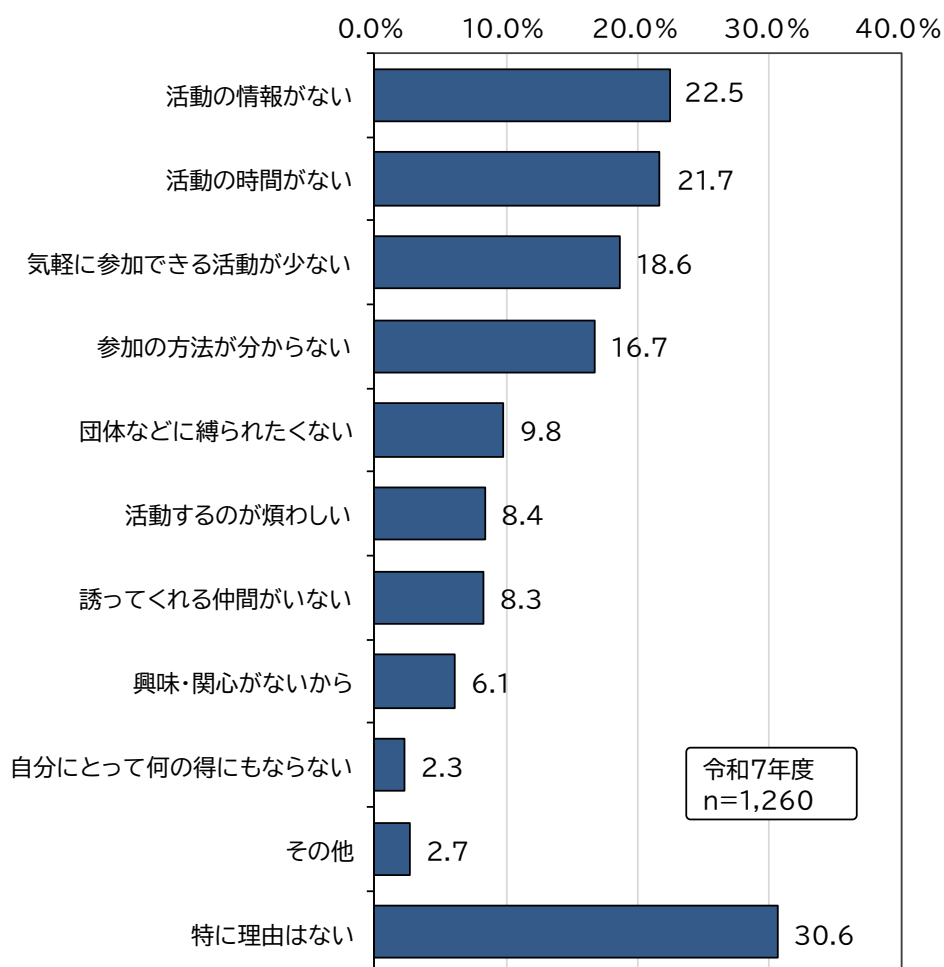
※n=問12で『参加している』と回答した人

清掃活動に参加する理由について、「自分が住んでいる地区を綺麗にしたいから」と回答した人の割合が37.8%と最も高く、次いで「近所の人も参加しているから」(21.5%)の順となっている。



問14. あなたが清掃活動に参加しない理由として当てはまるものすべてお答えください。  
(複数回答)

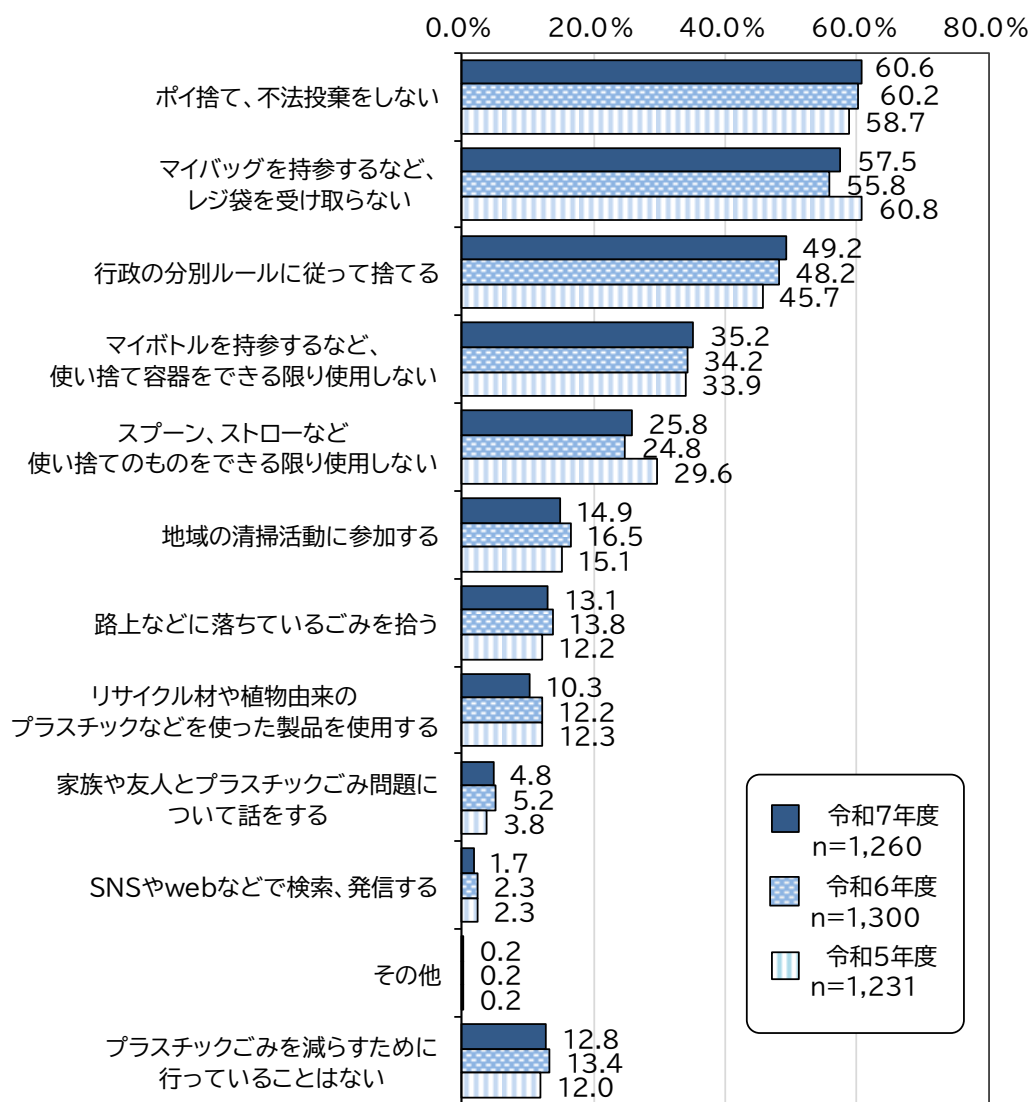
清掃活動に参加しない理由について、「特に理由はない」と回答した人の割合は 30.6%となった。具体的な理由については、「活動の情報がない」と回答した人の割合が 22.5%と最も高く、次いで「活動の時間がない」(21.7%)の順となっている。



## 2. プラスチックごみについて

問15. あなたは、プラスチックごみを減らすために、普段の生活の中で取り組んでいることはありますか。(複数回答)

プラスチックごみを減らすために、普段の生活の中で取り組んでいることについて、「ポイ捨て・不法投棄をしない」と回答した人の割合が60.6%と最も高く、次いで「マイバッグを持参するなど、レジ袋を受け取らない」(57.5%)の順となっている。



地域別にみると、「行政の分別ルールに従って捨てる」と回答した人の割合は沿岸部で 5 割台と他の地域に比べ高くなっている。

また、都市部では、沿岸部や内陸部と比較して「プラスチックごみを減らすために行っていることはない」と回答した人の割合が高くなっており、「ポイ捨て、不法投棄をしない」、「マイバッグを持参するなど、レジ袋を受け取らない」と回答した人の割合が低くなっている。

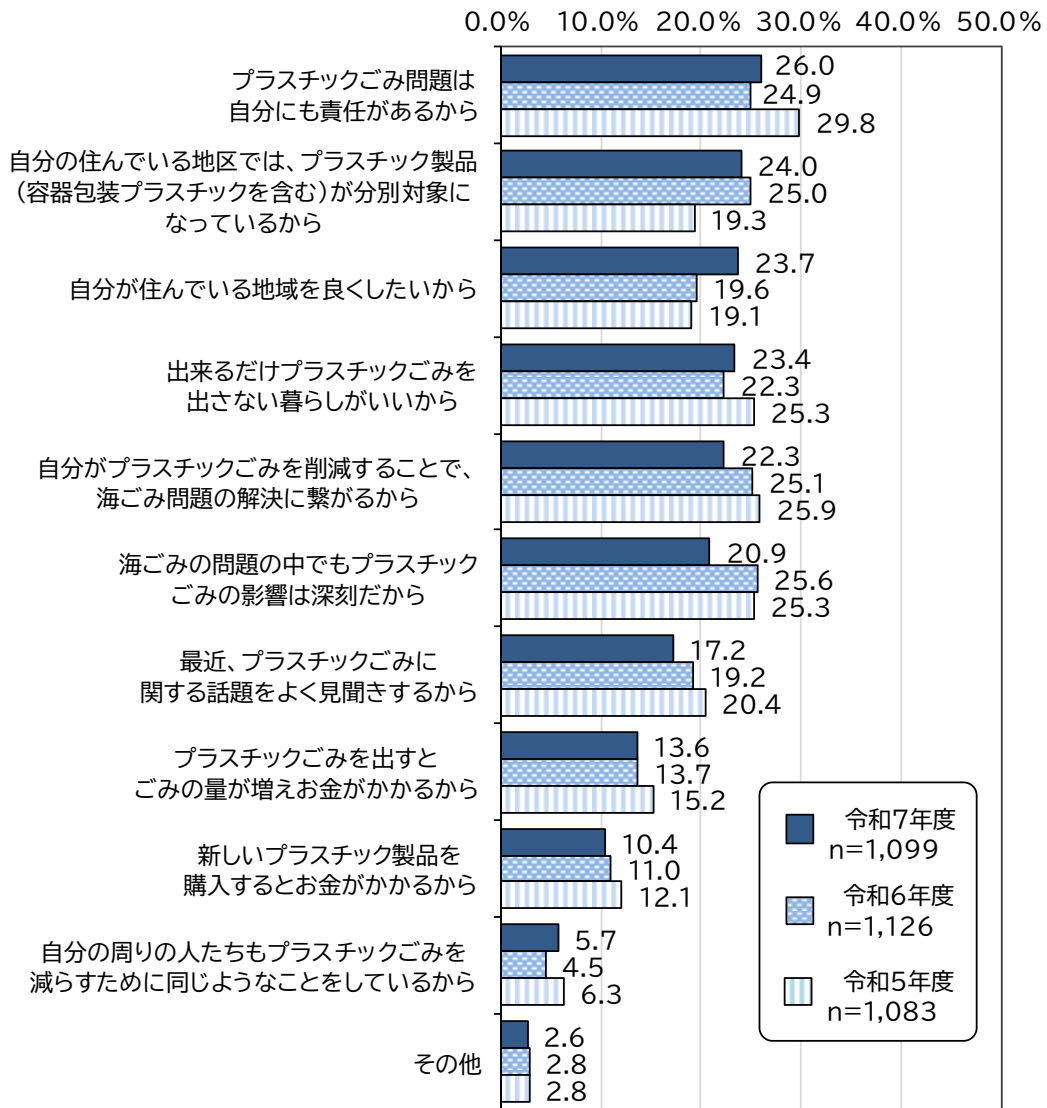
	ポイ捨て、不法投棄をしない	マイバッグを持参するなど、レジ袋を受け取らない	行政の分別ルールに従って捨てる	マイボトルを持参するなど、使い捨て容器をできる限り使用しない	スプーン、ストローなど使い捨てのものをできる限り使用しない	地域の清掃活動に参加する	路上などに落ちているごみを拾う	リサイクル材や植物由来のプラスチックなどを使った製品を使用する	
全体	1,260 100.0	764 60.6	724 57.5	620 49.2	444 35.2	325 25.8	188 14.9	165 13.1	130 10.3
都市部	475 100.0	260 54.7	254 53.5	219 46.1	167 35.2	124 26.1	53 11.2	56 11.8	42 8.8
沿岸部	352 100.0	232 65.9	218 61.9	196 55.7	122 34.7	86 24.4	63 17.9	41 11.6	34 9.7
内陸部	433 100.0	272 62.8	252 58.2	205 47.3	155 35.8	115 26.6	72 16.6	68 15.7	54 12.5

	家族や友人とプラスチックごみ問題について話をする	SNSやwebなどで検索、発信する	その他	プラスチックごみを減らすために行っていることはない	
全体	1,260 100.0	61 4.8	21 1.7	2 0.2	161 12.8
都市部	475 100.0	27 5.7	9 1.9	0 0.0	79 16.6
沿岸部	352 100.0	14 4.0	3 0.9	0 0.0	35 9.9
内陸部	433 100.0	20 4.6	9 2.1	2 0.5	47 10.9

問16. あなたが、前問で回答したような行動に至った理由は何ですか。当てはまるものを3つまでお答えください。(複数回答)

※n=問15 でプラスチックごみを減らすために、普段の生活の中で取り組んでいることがあると回答した人

前問で回答したような行動に至った理由について、「プラスチックごみ問題は自分にも責任があるから」と回答した人の割合が 26.0%と最も高く、次いで「自分の住んでいる地区では、プラスチック製品(容器包装プラスチックを含む)が分別対象になっているから」(24.0%)の順となっている。



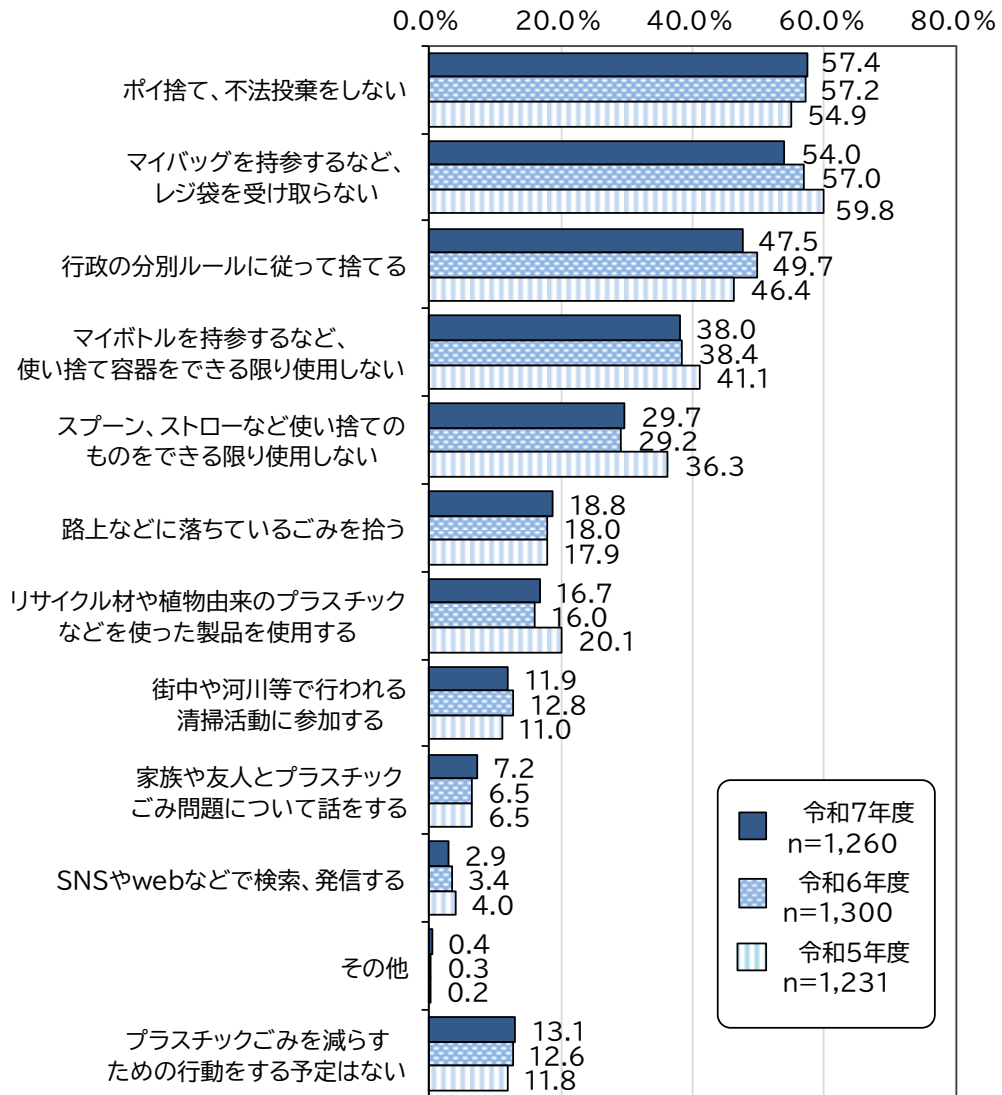
地域別にみると、「自分の住んでいる地区では、プラスチック製品が分別対象になっているから」と回答した人の割合は沿岸部で 3 割台と他の地域に比べ高くなっている。

問16 前問で回答したような行動に至った理由									
	プラスチックごみ問題は自分にも責任があるから	自分の住んでいる地区では、プラスチック製品(容器包装プラスチックを含む)が分別対象になっているから	自分が住んでいる地域を良くしたいから	出来るだけプラスチックごみを出さない暮らしがいいから	自分がプラスチックごみを削減することで、海ごみ問題の解決に繋がるから	海ごみの問題の中でもプラスチックごみの影響は深刻だから	最近、プラスチックごみに関する話題をよく見聞きするから	プラスチックごみを出すとごみの量が増えお金がかかるから	
全体	1,099 100.0	286 26.0	264 24.0	260 23.7	257 23.4	245 22.3	230 20.9	189 17.2	149 13.6
都市部	396 100.0	110 27.8	72 18.2	88 22.2	92 23.2	93 23.5	86 21.7	69 17.4	47 11.9
沿岸部	317 100.0	83 26.2	98 30.9	84 26.5	62 19.6	75 23.7	68 21.5	49 15.5	42 13.2
内陸部	386 100.0	93 24.1	94 24.4	88 22.8	103 26.7	77 19.9	76 19.7	71 18.4	60 15.5

問16 前問で回答したような行動に至った理由				
	新しいプラスチック製品を購入するとお金がかかるから	自分の周りの人たちもプラスチックごみを減らすために同じようなことをしているから	その他	
全体	1,099 100.0	114 10.4	63 5.7	29 2.6
都市部	396 100.0	50 12.6	25 6.3	9 2.3
沿岸部	317 100.0	25 7.9	16 5.0	5 1.6
内陸部	386 100.0	39 10.1	22 5.7	15 3.9

問17. あなたが普段の生活の中でプラスチックごみを減らすために今後行う予定がある、もしくは行いたいと思っていることはどれですか。(複数回答)

プラスチックごみを減らすために今後行う予定がある、もしくは行いたいと思っていることについて、「ポイ捨て・不法投棄をしない」と回答した人の割合が 57.4%と最も高く、次いで「マイバッグを持参するなど、レジ袋を受け取らない」(54.0%)の順となっている。



地域別にみると、「ポイ捨て、不法投棄をしない」と回答した人の割合は沿岸部で 6 割台、「行政の分別ルールに従って捨てる」と回答した人の割合は沿岸部で 5 割台と他の地域に比べ高くなっている。

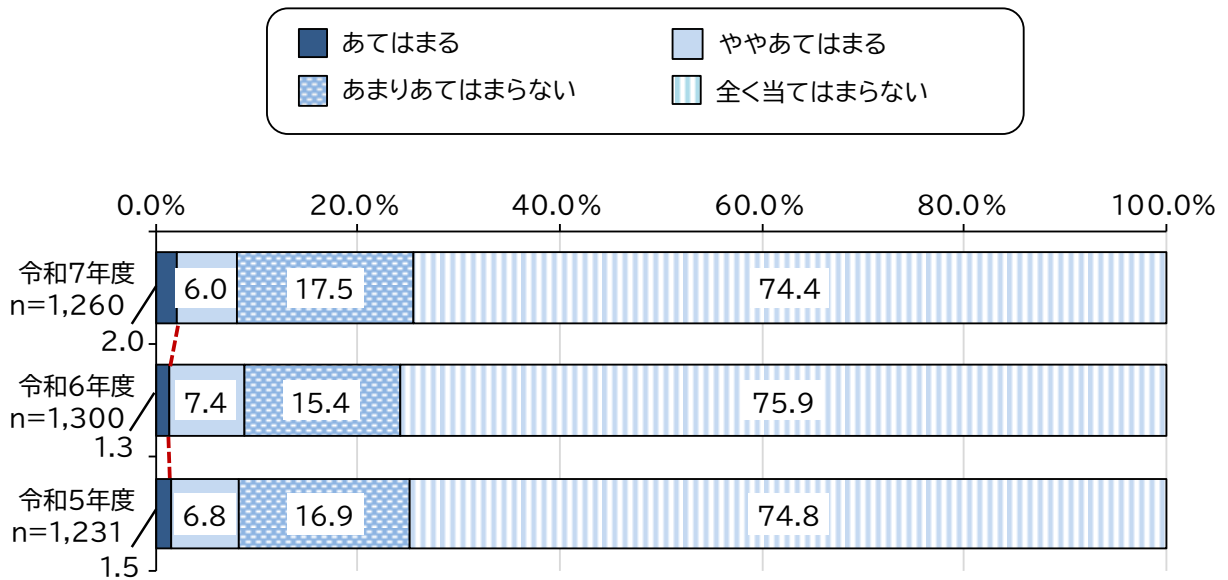
問17 プラスチックごみを減らすために今後行う予定がある、もしくは行いたいと思っていること										
	ポイ捨て、不法投棄をしない	マイバッグを持参するなど、レジ袋を受け取らない	行政の分別ルールに従って捨てる	マイボトルを持参するなど、使い捨て容器をできる限り使用しない	スプーン、ストローなど使い捨てのものをできる限り使用しない	路上などに落ちているごみを拾う	リサイクル材や植物由来のプラスチックなどを使った製品を使用する	街中や河川等で行われる清掃活動に参加する		
全体	1,260 100.0	723 57.4	681 54.0	599 47.5	479 38.0	374 29.7	237 18.8	210 16.7	150 11.9	
都市部	475 100.0	255 53.7	246 51.8	198 41.7	175 36.8	135 28.4	76 16.0	73 15.4	45 9.5	
沿岸部	352 100.0	227 64.5	202 57.4	194 55.1	129 36.6	101 28.7	72 20.5	68 19.3	49 13.9	
内陸部	433 100.0	241 55.7	233 53.8	207 47.8	175 40.4	138 31.9	89 20.6	69 15.9	56 12.9	

問17 プラスチックごみを減らすために今後行う予定がある、もしくは行いたいと思っていること					
	家族や友人とプラスチックごみ問題について話をする	SNSやwebなどで検索、発信する	その他	プラスチックごみを減らすための行動をする予定はない	
全体	1,260 100.0	91 7.2	37 2.9	5 0.4	165 13.1
都市部	475 100.0	39 8.2	19 4.0	1 0.2	77 16.2
沿岸部	352 100.0	20 5.7	6 1.7	1 0.3	33 9.4
内陸部	433 100.0	32 7.4	12 2.8	3 0.7	55 12.7

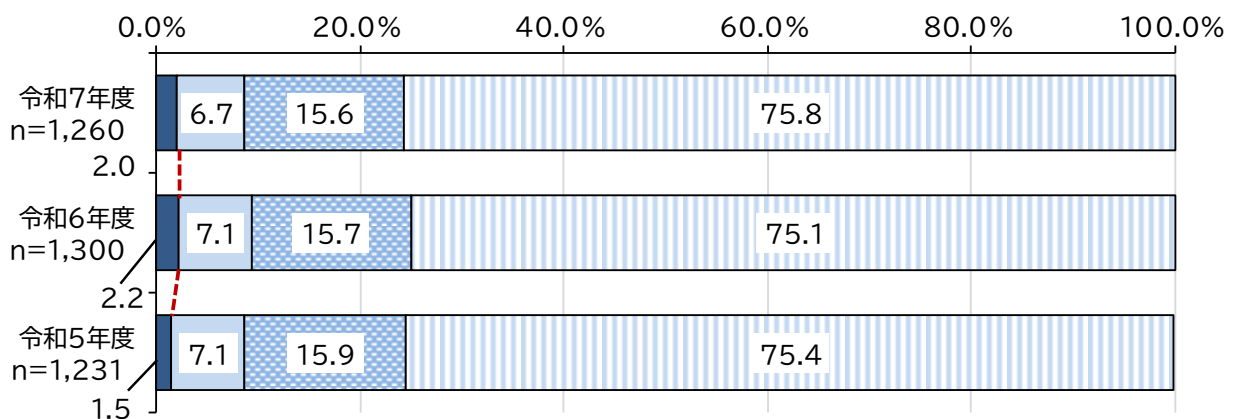
問18. あなたは下記についてどの程度当てはまりますか。過去1年間の行動に当てはまるものを選択してください。(それぞれひとつずつ選択)

過去1年間の行動について「あてはまる」と回答した人の割合は「(1)パンやおにぎり、アメの包装・ペットボトル・飲料用カップなど、ちょっとしたごみが出たときに、周辺にごみ箱がなかったため、ポイ捨てをしたことがある」で2.0%、「(2)周囲に人がいないことを確かめてから、その場にごみを放置したことがある」で2.0%、「(3)車内で発生したごみを車外へポイ捨てをしたことがある」で2.4%となっており、いずれも1割未満となっている。

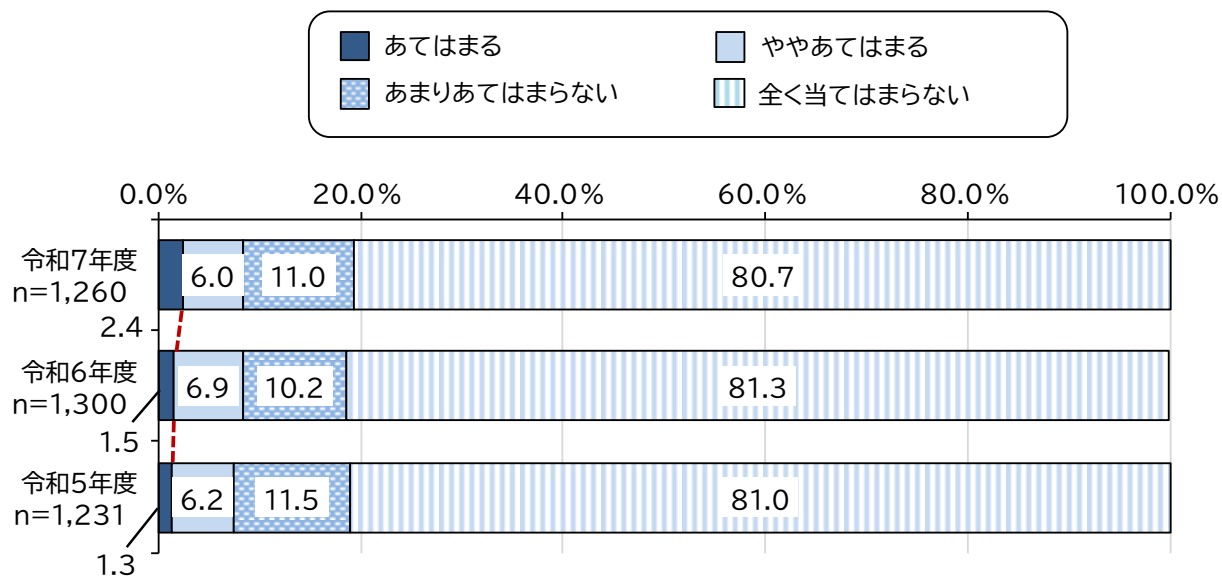
(1)パンやおにぎり、アメの包装・ペットボトル・飲料用カップなど、ちょっとしたごみが出たときに、周辺にごみ箱がなかったため、ポイ捨てをしたことがある



(2)周囲に人がいないことを確かめてから、その場にごみを放置したことがある



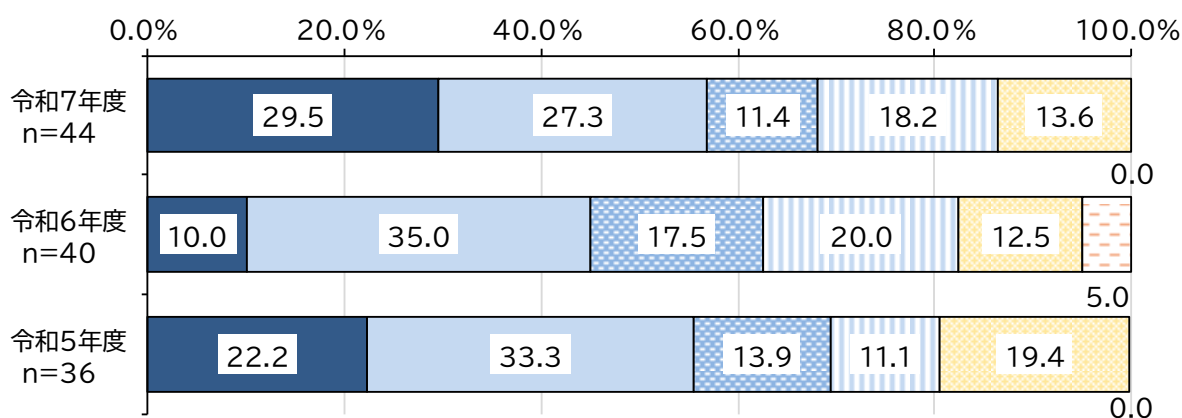
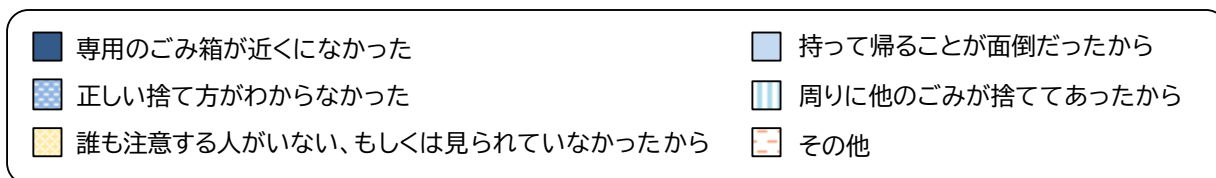
(3)車内で発生したごみを車外へポイ捨てしたことがある



問19. 前問で「あてはまる」を選んだ理由として、最もあてはまるものをお答え下さい。(単数回答)

※n=問 18でひとつでも「あてはまる」と回答した人

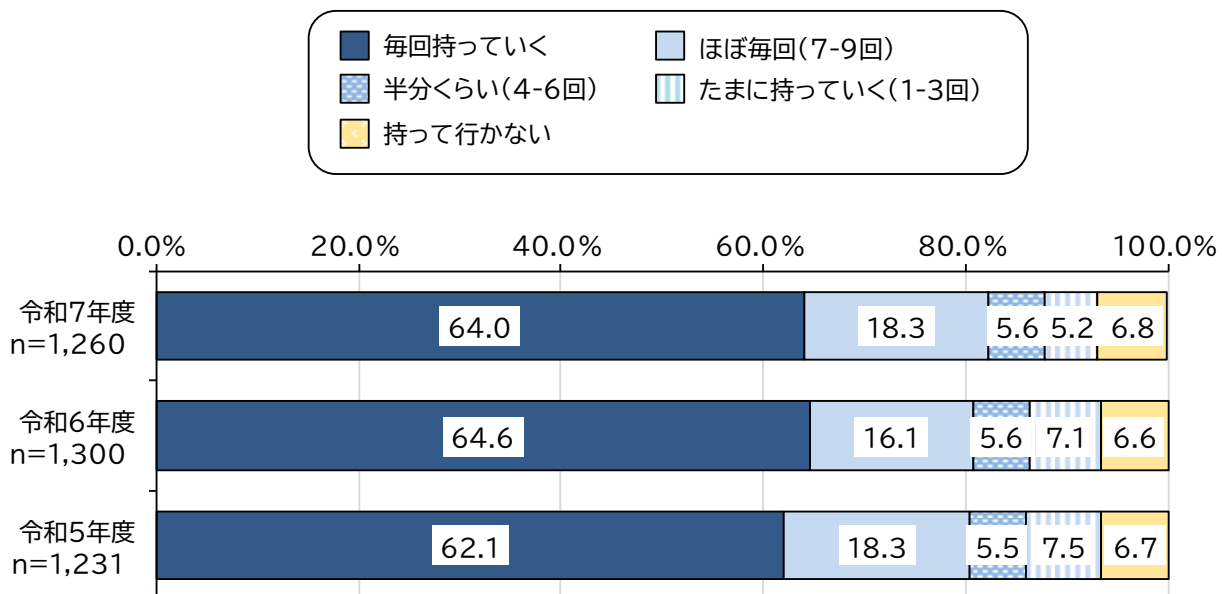
前問で「あてはまる」を選んだ理由として、「専用のごみ箱が近くになかった」と回答した人の割合が29.5%と最も高く、次いで「持って帰るのが面倒だったから」(27.3%)の順となっている。



問20. あなたは、買い物のときにマイバッグを持ち歩く習慣はありますか。

(買い物 10 回のうち、マイバッグを持って行く回数)

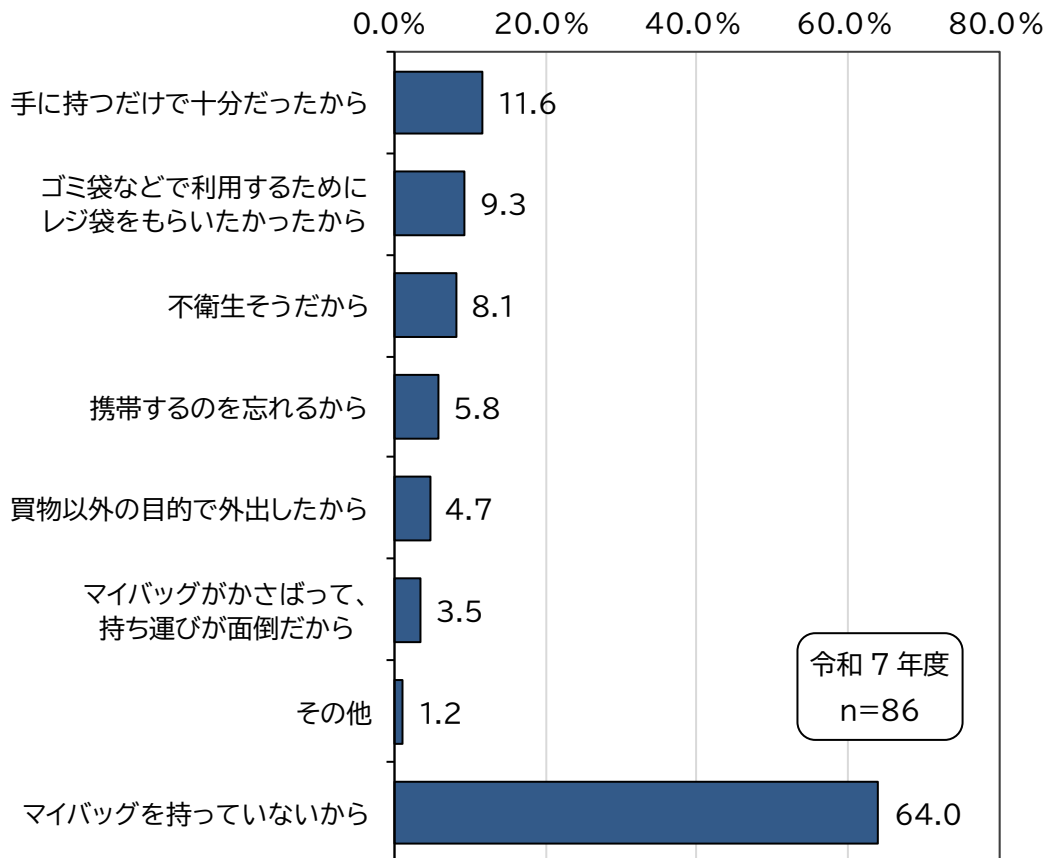
買い物のときにマイバッグを持っていく回数について、「毎回」と回答した人の割合が 64.0%と最も高く、次いで「ほぼ毎回(7-9回)」(18.3%)の順となっている。



問21. マイバッグを持って行かない(行けない)時の理由をすべてお選びください。(複数回答)

※n=問20で「持って行かない」と回答した人

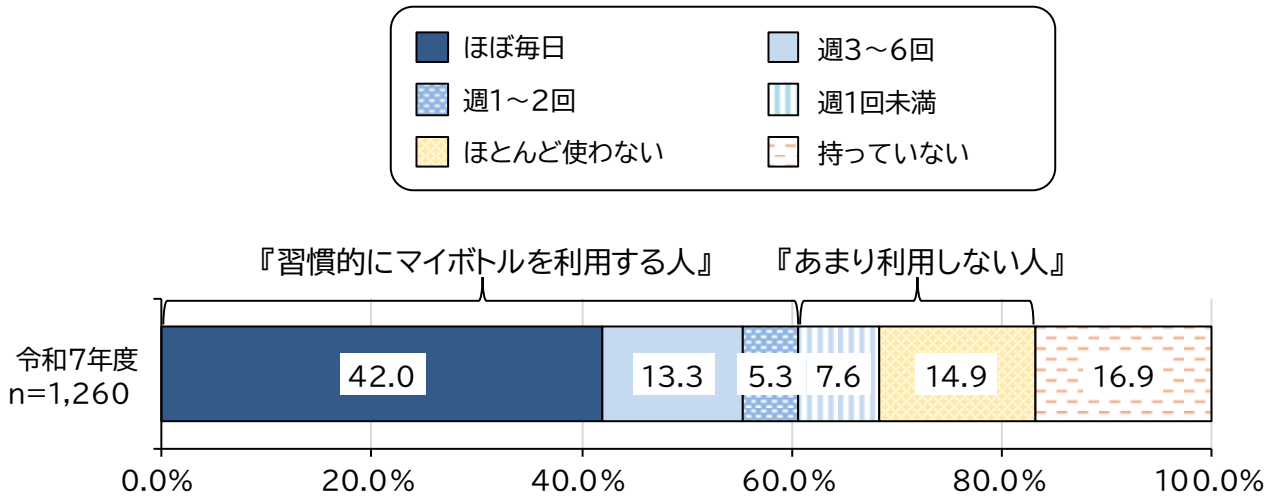
買い物のときにマイバッグを持って行かない(行けない)時の理由について、「マイバッグを持っていないから」と回答した人の割合が 64.0%と最も高く、次いで「手に持つだけで十分だったから」(11.6%)、「ゴミ袋などで利用するためにレジ袋をもらいたかった」(9.3%)が続いている。



問22. あなたはそれぞれの項目について、どのくらいの頻度ですか。もっとも当てはまるものをお答えください。(単数回答)

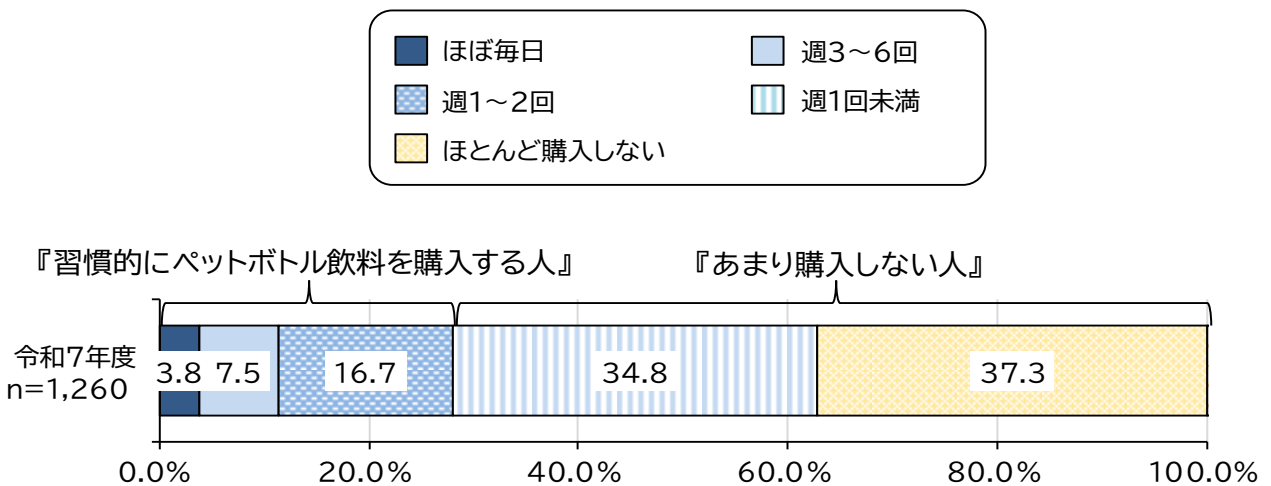
(1)マイボトル(水筒)を使う

習慣的にマイボトルを利用する人(ほぼ毎日～週 1～2回未満)の割合が 60.6%、あまり利用しない人(週 1 回未満、ほとんど使わない)の割合が 22.5%、マイボトルを持っていない人の割合が 16.9%となっている。



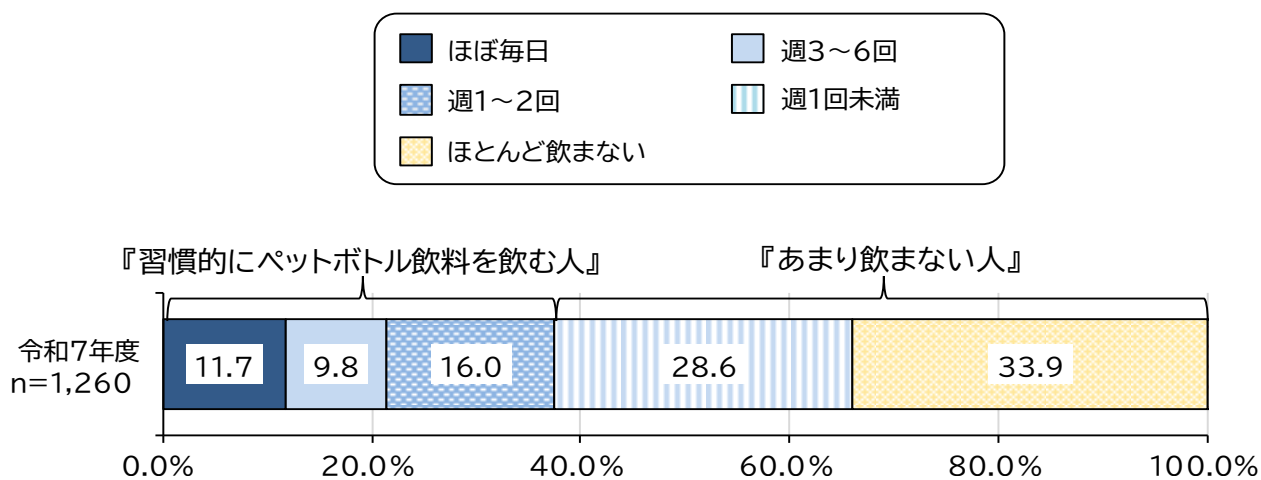
(2)ペットボトル飲料を購入する

習慣的にペットボトル飲料を購入する人(ほぼ毎日～週 1～2回未満)の割合が 28.0%、あまり購入しない人(週 1 回未満、ほとんど購入しない)の割合が 72.1%となっている。



### (3) ペットボトル飲料を飲む

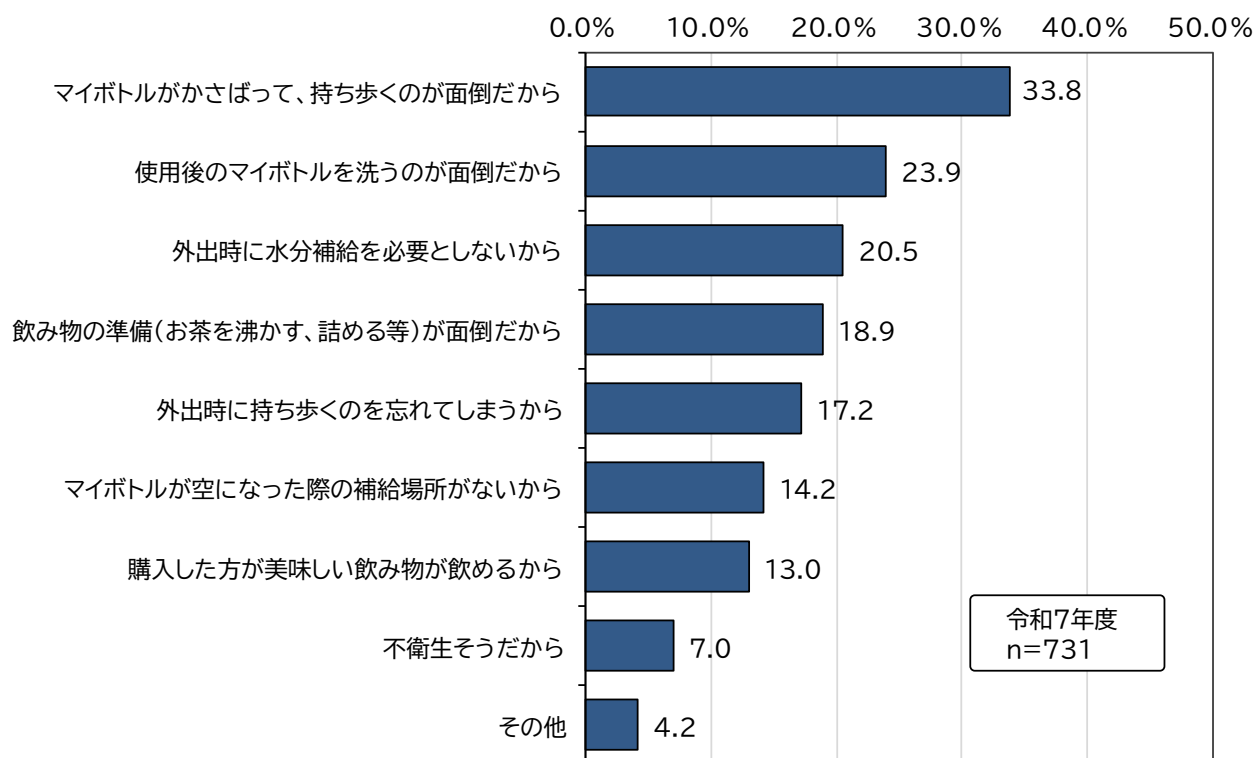
習慣的にペットボトル飲料を飲む人(ほぼ毎日～週 1～2回未満)の割合が 37.5%、あまり飲まない人(週 1 回未満、ほとんど飲まない)の割合が 62.5%となっている。



問23. マイボトルを持ち歩かない、または持ち歩きたいと思うが支障がある場合の理由をすべてお選びください。(複数回答)

※n=問22(1)で「1週間のうち、マイボトルを持ち歩く回数6回以下」と回答した人

買い物のときにマイボトルを持って行かない理由について、「マイボトルがかさばって、持ち歩くのが面倒だから」と回答した人の割合が 33.8%と最も高く、次いで「使用後のマイボトルを洗うのが面倒だから」(23.9%)が続いている。



### 3. 食品ロスについて

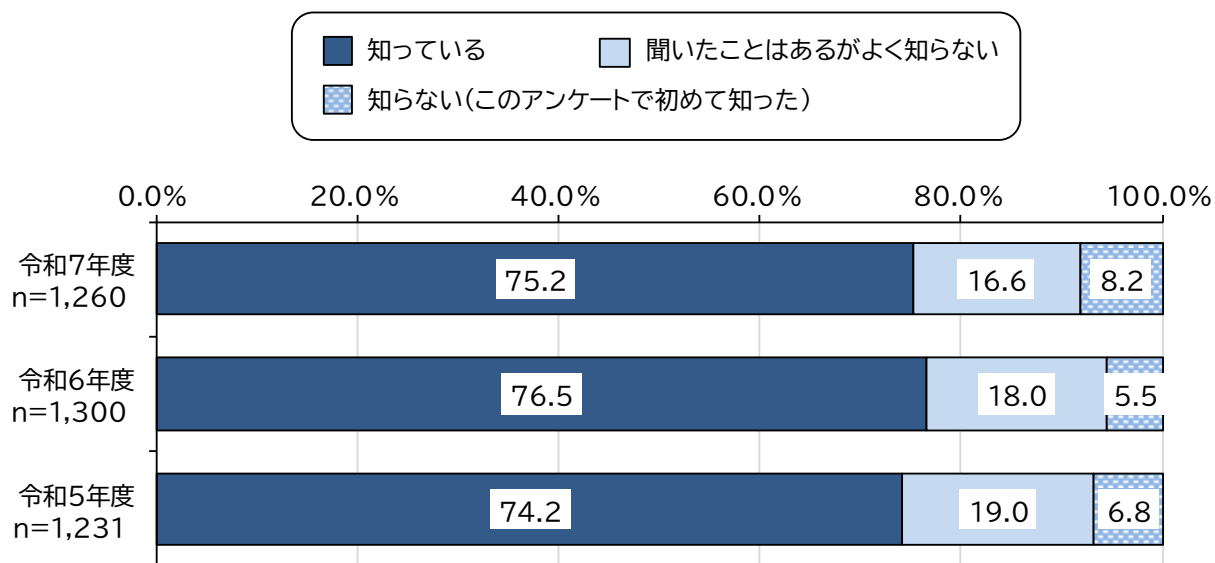
問24. あなたは下記の項目についてどの程度ご存じですか。（それぞれひとつずつ）

(1)あなたは食品ロス問題<sup>\*</sup>を知っていますか。

<sup>\*</sup>食品ロス:まだ食べられるのに捨てられている食品

「知っている」と回答した人の割合は 75.2%であり、令和 6 年度と同程度である。

一方、「知らない(このアンケートで初めて知った)」と回答した人の割合は 8.2%であり、令和 5 年度と令和 6 年度のいずれよりも高くなっている。



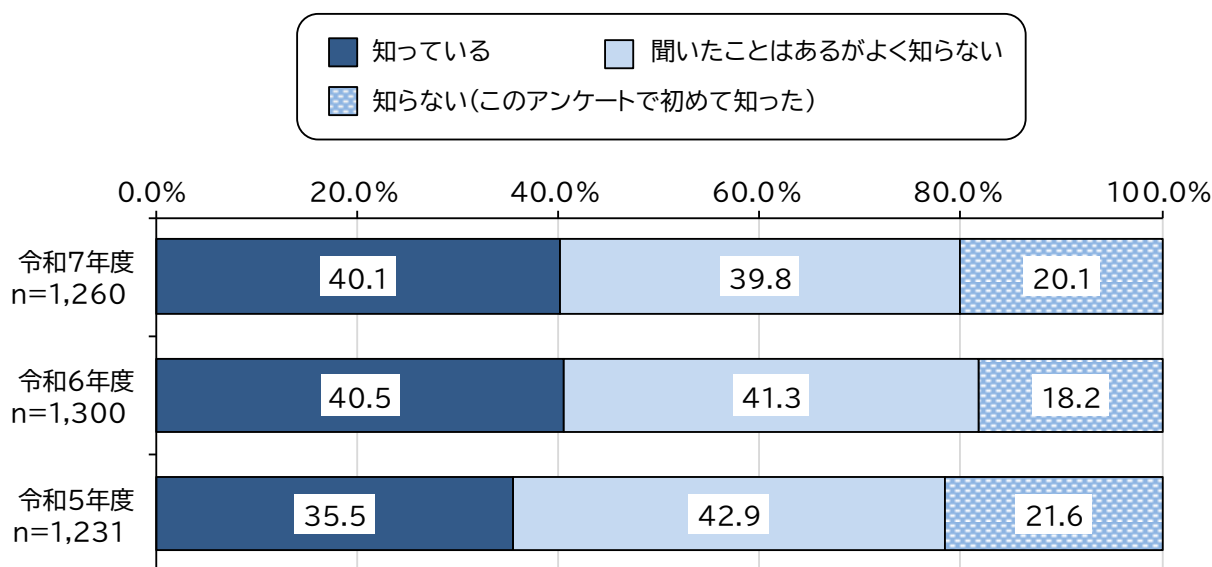
	知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない(このアンケートで初めて知った)	
<b>全体</b>	1,260 100.0	948 75.2	209 16.6	103 8.2
<b>都市部</b>	475 100.0	346 72.8	80 16.8	49 10.3
<b>沿岸部</b>	352 100.0	281 79.8	52 14.8	19 5.4
<b>内陸部</b>	433 100.0	321 74.1	77 17.8	35 8.1

(2)フードバンク※がどのような活動をしているか知っていますか。

※フードバンク:食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無料で提供する団体

「知っている」と回答した人の割合は 40.1%であり、令和 5 年度よりは高く、令和 6 年度と同程度である。

一方、「知らない(このアンケートで初めて知った)」と回答した人の割合は 20.1%であり、令和 5 年度よりは低いものの、令和 6 年度よりは高くなっている。



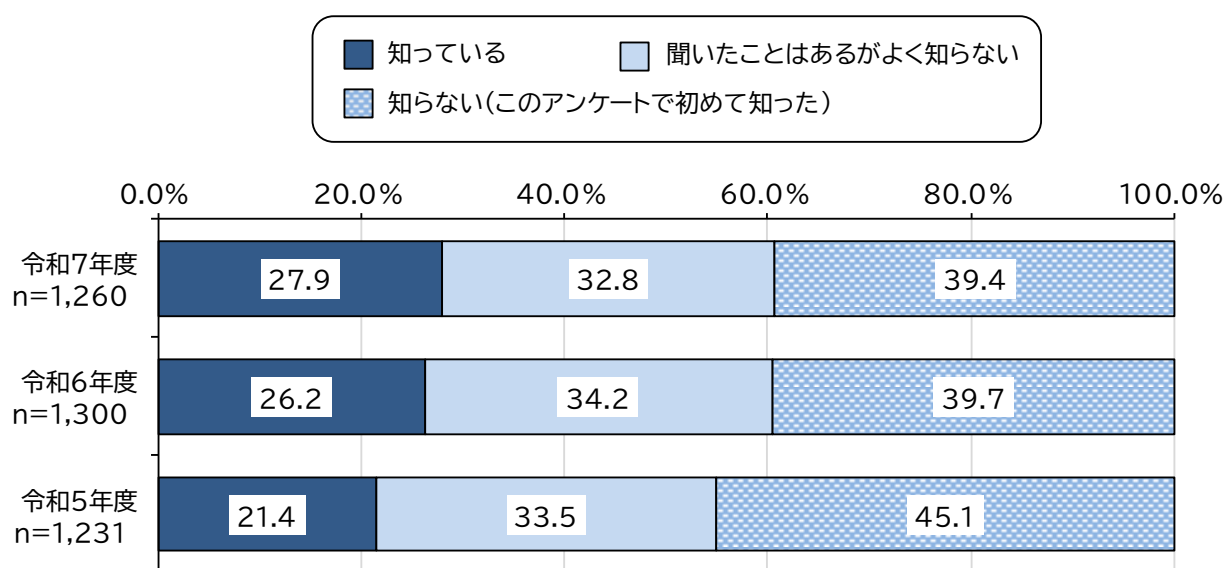
(2)フードバンクの活動				
		知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない (このアンケートで初めて知った)
<b>全体</b>	1,260 100.0	505 40.1	502 39.8	253 20.1
<b>都市部</b>	475 100.0	181 38.1	185 38.9	109 22.9
<b>沿岸部</b>	352 100.0	142 40.3	157 44.6	53 15.1
<b>内陸部</b>	433 100.0	182 42.0	160 37.0	91 21.0

(3)フードドライブ※がどのような活動か知っていますか。

※フードドライブ:各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動

「知っている」と回答した人の割合は 27.9%であり、令和 5 年度と令和 6 年度のいずれよりも高くなっている。

一方、「知らない(このアンケートで初めて知った)」と回答した人の割合は 39.4%であり、令和 5 年度よりは低いものの、令和 6 年度と同程度である。



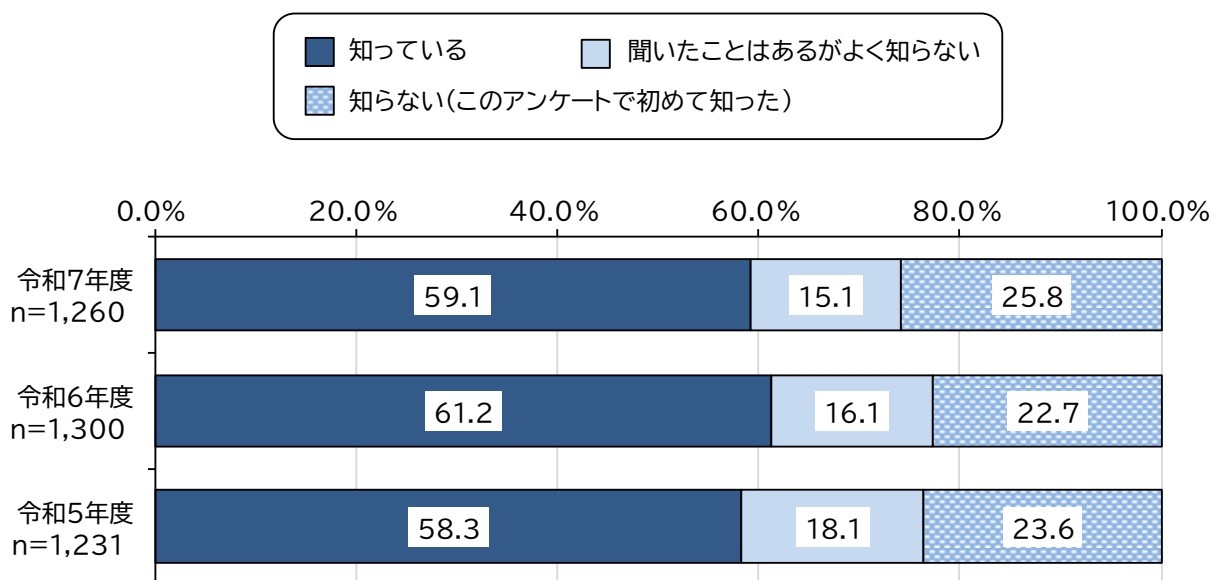
	知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない(このアンケートで初めて知った)	
<b>全体</b>	1,260 100.0	351 27.9	413 32.8	496 39.4
<b>都市部</b>	475 100.0	125 26.3	149 31.4	201 42.3
<b>沿岸部</b>	352 100.0	90 25.6	115 32.7	147 41.8
<b>内陸部</b>	433 100.0	136 31.4	149 34.4	148 34.2

(4)食品ロスの削減に繋がる「てまえどり<sup>※</sup>」を知っていますか。

※てまえどり:商品棚の手前にある商品を選ぶこと

「知っている」と回答した人の割合は 59.1%であり、令和 5 年度よりは高くなっているが、令和 6 年度よりは低くなっている。

一方、「知らない(このアンケートで初めて知った)」と回答した人の割合は 25.8%であり、令和 5 年度と令和 6 年度のいずれよりも高くなっている。



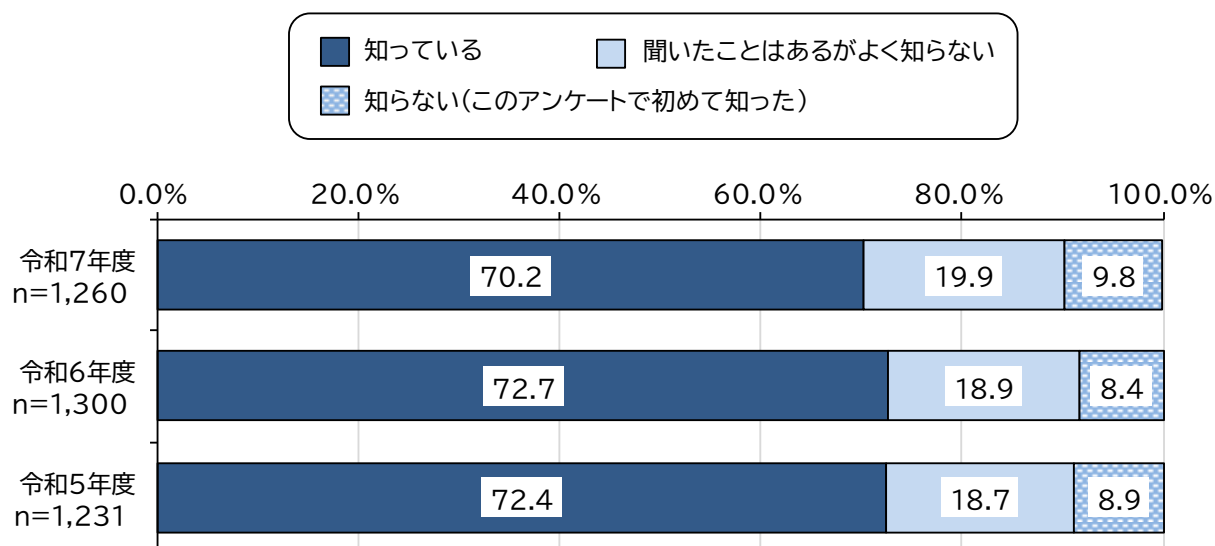
(4)てまえどり				
	知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない(このアンケートで初めて知った)	
<b>全体</b>	1,260 100.0	745 59.1	190 15.1	325 25.8
<b>都市部</b>	475 100.0	271 57.1	80 16.8	124 26.1
<b>沿岸部</b>	352 100.0	220 62.5	48 13.6	84 23.9
<b>内陸部</b>	433 100.0	254 58.7	62 14.3	117 27.0

(5)賞味期限と消費期限\*の意味を正しく知っていますか。

※賞味期限:おいしく食べられる期限 ・ 消費期限:安全に食べられる期限

「知っている」と回答した人の割合は 70.2%であり、令和 5 年度と令和 6 年度のいずれよりも低くなっている。

一方、「知らない(このアンケートで初めて知った)」と回答した人の割合は 9.8%であり、令和 5 年度と令和 6 年度のいずれよりも高くなっている。



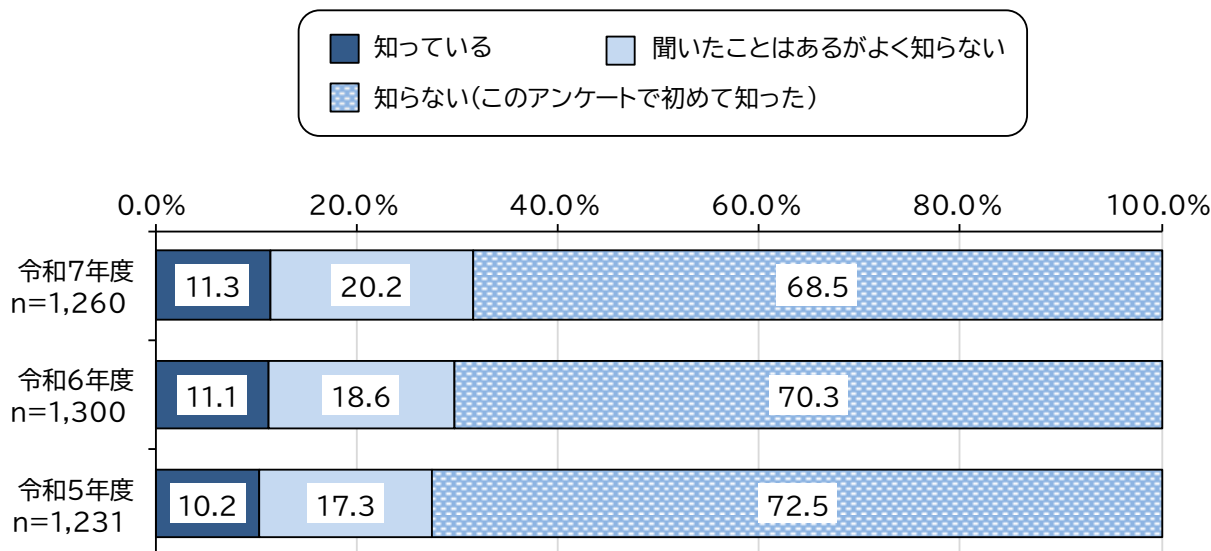
	知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない(このアンケートで初めて知った)	
<b>全体</b>	1,260 100.0	885 70.2	251 19.9	124 9.8
<b>都市部</b>	475 100.0	323 68.0	99 20.8	53 11.2
<b>沿岸部</b>	352 100.0	258 73.3	63 17.9	31 8.8
<b>内陸部</b>	433 100.0	304 70.2	89 20.6	40 9.2

(6)あなたは「30・10 運動」※を知っていますか。

※30・10 運動:会食時に最初の 30 分と最後の 10 分は料理を楽しみ、食べ残しを減らしましょうという取組

「知っている」と回答した人の割合は 11.3%であり、令和 5 年度と令和 6 年度のいずれよりも高くなっている。

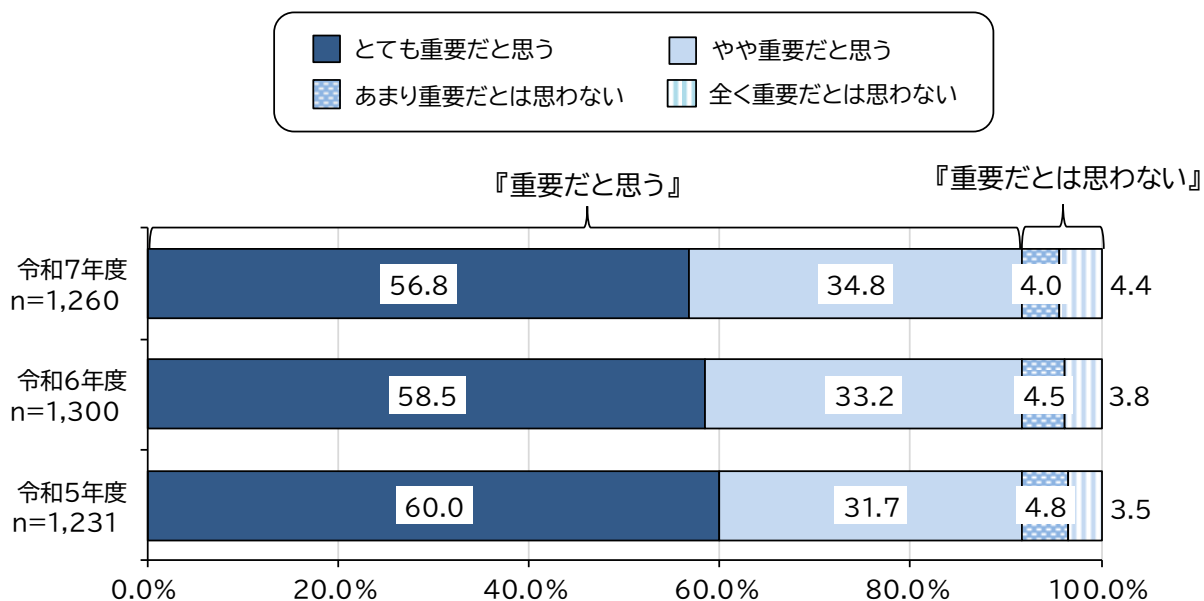
一方、「知らない(このアンケートで初めて知った)」と回答した人の割合は 68.5%であり、令和 5 年度と令和 6 年度のいずれよりも低くなっている。



	知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない(このアンケートで初めて知った)	
<b>全体</b>	1,260 100.0	143 11.3	254 20.2	863 68.5
<b>都市部</b>	475 100.0	56 11.8	86 18.1	333 70.1
<b>沿岸部</b>	352 100.0	36 10.2	73 20.7	243 69.0
<b>内陸部</b>	433 100.0	51 11.8	95 21.9	287 66.3

問 25. あなたは食品ロス問題に対処することを重要だと考えますか。(単数回答)

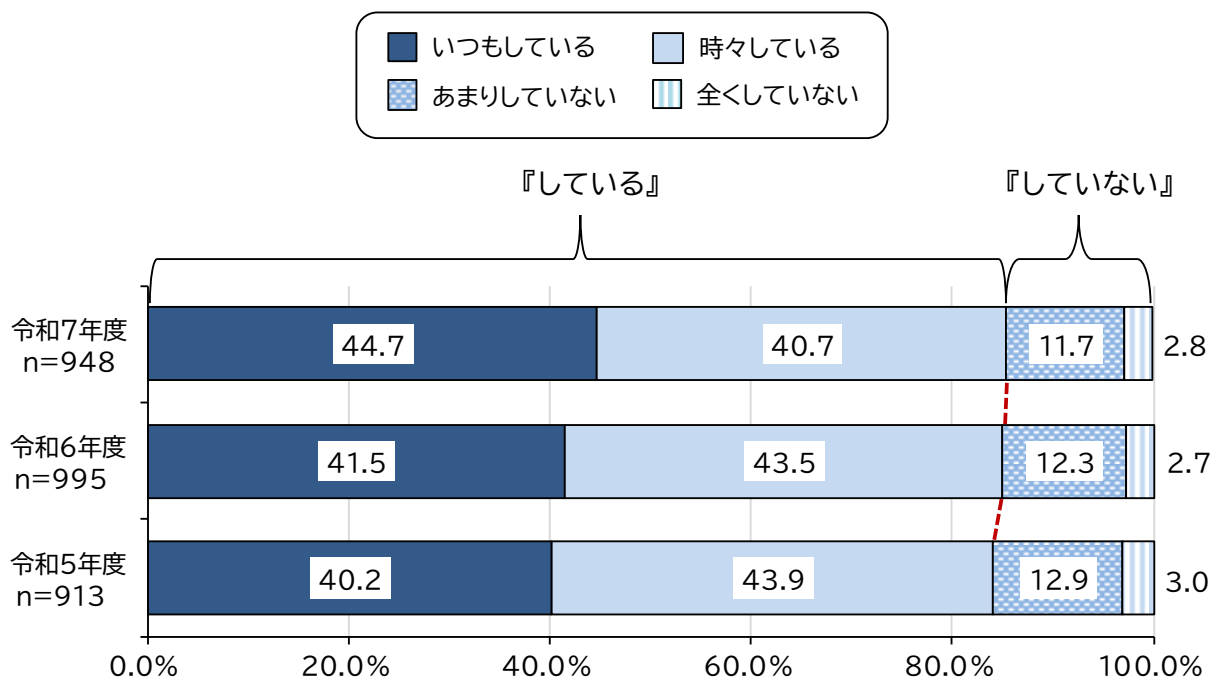
食品ロス問題に対処することの重要性について、『重要だと思う』(「とても重要だと思う」と「やや重要だと思う」を合わせた割合)と回答した人の割合が 91.6%、『重要だとは思わない』(「全く重要だとは思わない」と「あまり重要だとは思わない」を合わせた割合)と回答した人の割合が 8.4%となっている。



問 26. あなたは食品ロスの削減にどのくらいの頻度で取り組んでいますか。(単数回答)

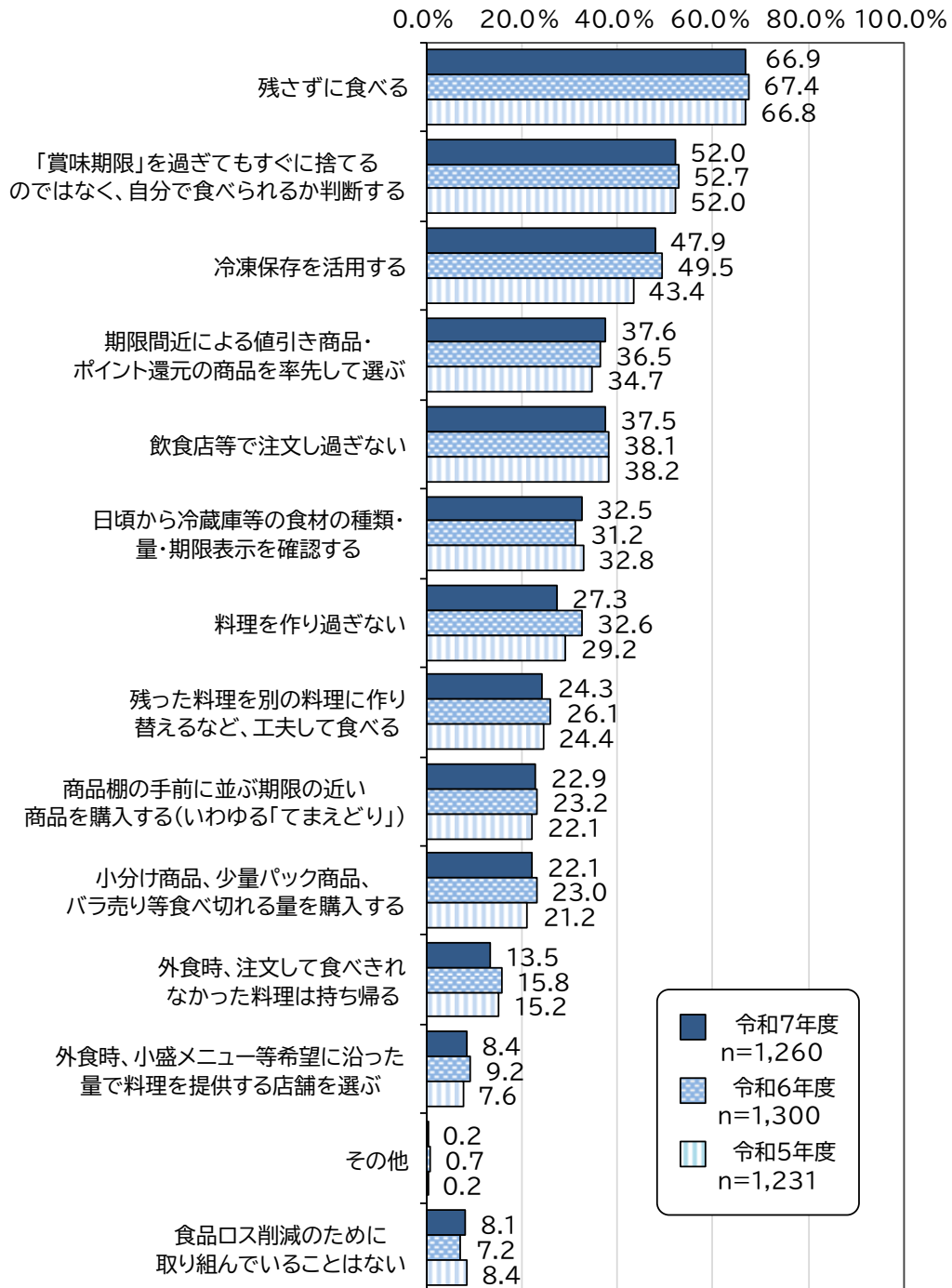
※n=問24(1)で食品ロス問題について「知っている」と回答した人

食品ロス削減への取組の頻度について、『している』(「いつもしている」と「時々している」を合わせた割合)と回答した人の割合は 85.4%、『していない』(「全くしていない」と「あまりしていない」を合わせた割合)と回答した人の割合は 14.5%となった。



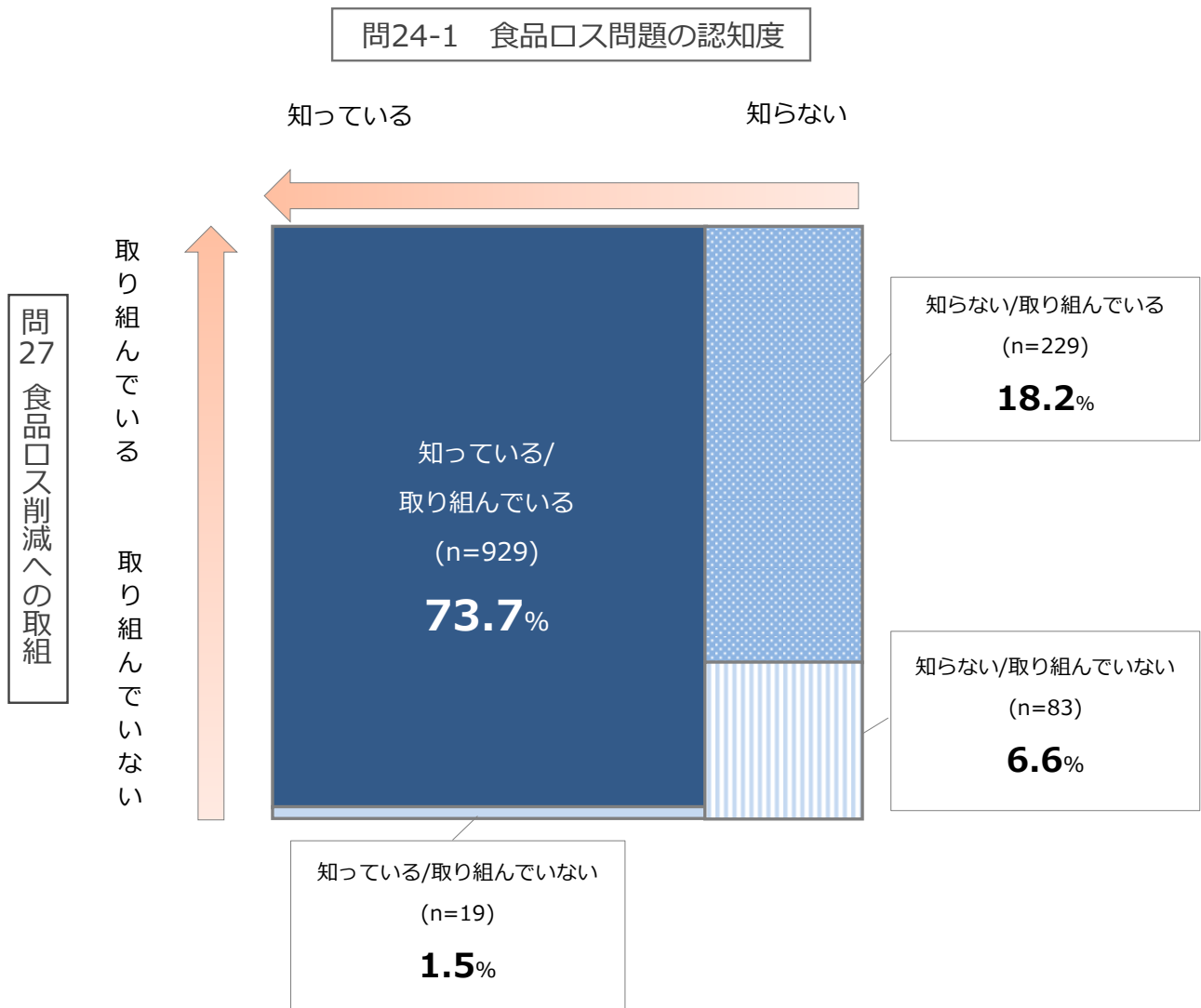
問 27. あなたは「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。(複数回答)

食品ロスを減らすために取り組んでいることについて、「残さず食べる」と回答した人の割合が66.9%と最も高く、次いで「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」(52.0%)の順となっている。



【参考】食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合

食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合について、「食品ロス問題について知っており削減に取り組んでいる消費者」が 73.7%、「食品ロス問題について知っているが削減に取り組んでいない消費者」が 1.5%、「食品ロス問題について知らないが削減に取り組んでいる消費者」が 18.2%、「食品ロス問題について知らないし削減にも取り組んでいない消費者」が 6.6%となっている。



※1 「知っている」とは、問 24-1で食品ロス問題について「知っている」と回答した人

※2 「知らない」とは、問 24-1で「聞いたことはあるがよく知らない」または「知らない(このアンケートで初めて知った)」と回答した人

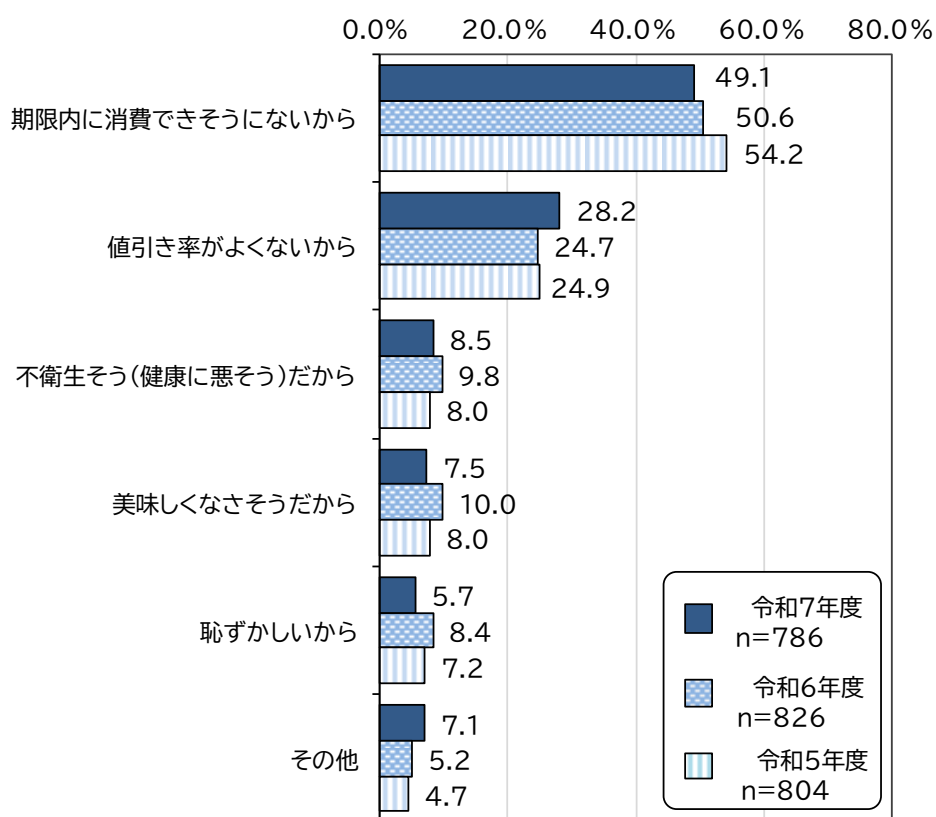
※3 「取り組んでいる」とは、問 27 で食品ロス削減のためにいずれかの取組をしていると回答した人

※4 「取り組んでいない」とは、問 27 で「食品ロス削減のために取り組んでいることはない」と回答した人

問28. あなたが、値引き商品を購入しない理由は何ですか。(複数回答)

※n=問27で「期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ」を選択しなかった人

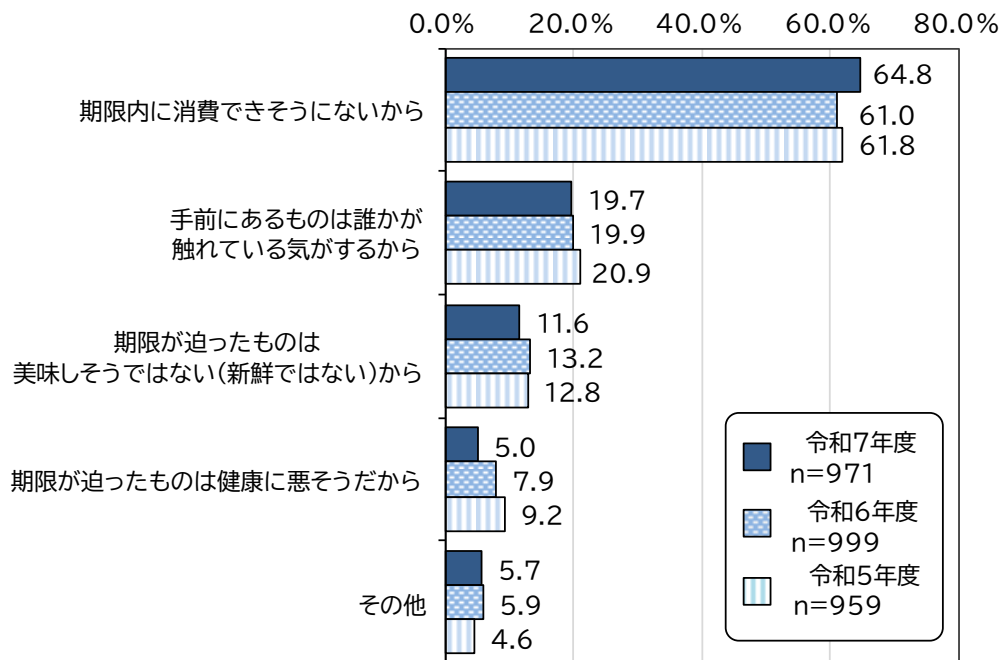
値引き商品を購入しない理由について、「期限内に消費できそうにない」と回答した人の割合が49.1%と最も高く、次いで「値引き率がよくない」(28.2%)が続いている。



問 29. あなたが、「てまえどり」をしない理由は何ですか。(複数回答)

※n=問27で「商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する(いわゆる「てまえどり」)」を選択しなかった人

「てまえどり」をしない理由について、「期限内に消費できそうにない」と回答した人の割合が 6 割を占めた。

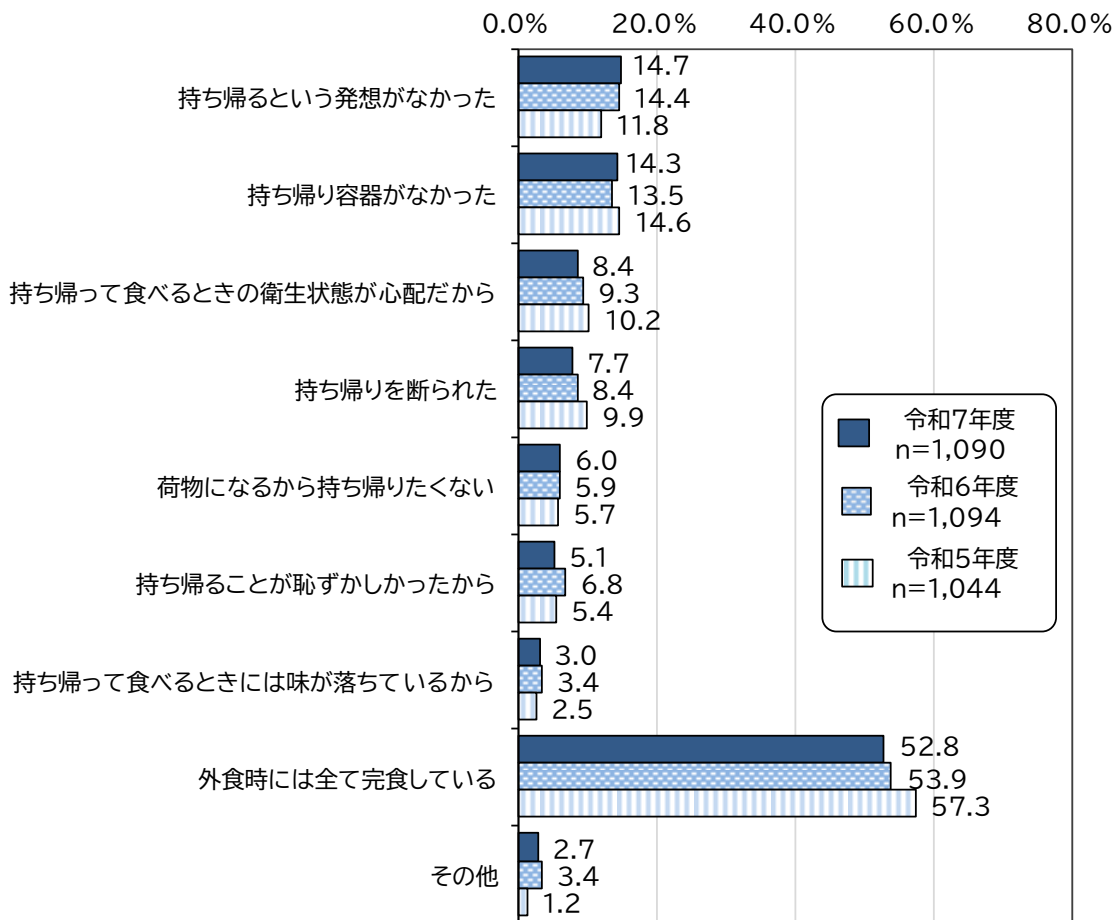


問30. あなたが、外食時に食べきれなかった料理を持ち帰りしなかった理由は何ですか。

(複数回答)

※n=問27で「外食時、注文して食べきれなかった料理は持ち帰る」を選択しなかった人

外食時に食べきれなかった料理を持ち帰りしなかった理由について、「外食時には全て完食している」と回答した人の割合が 52.8%と最も高く、次いで「持ち帰るという発想がなかった」(14.7%)、「持ち帰り容器がなかった」(14.3%)の順となっている。

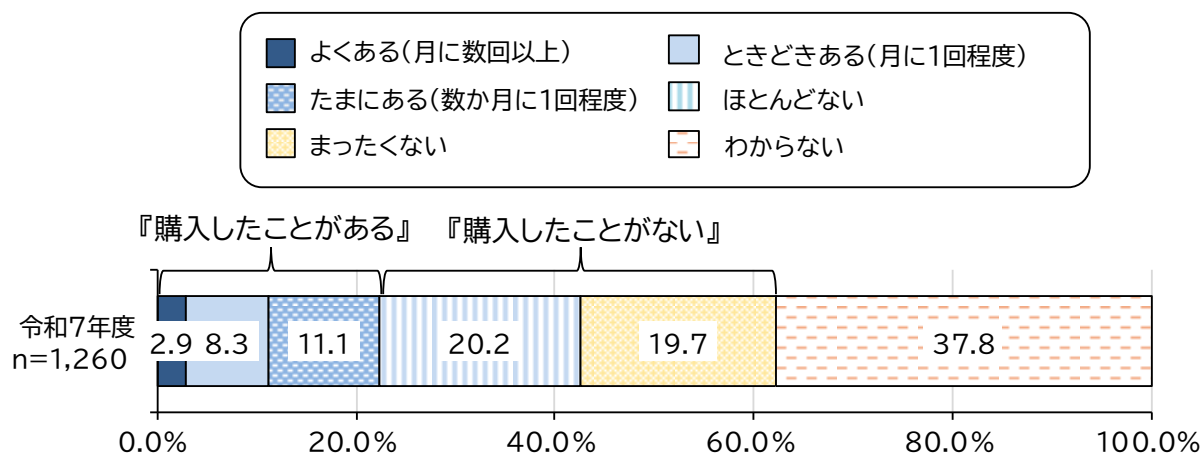


#### 4. エコ製品について

問31. 過去1年間で、岡山県エコ製品※など、環境にやさしい商品を意識的に選んで購入したことがありますか。(単数回答)

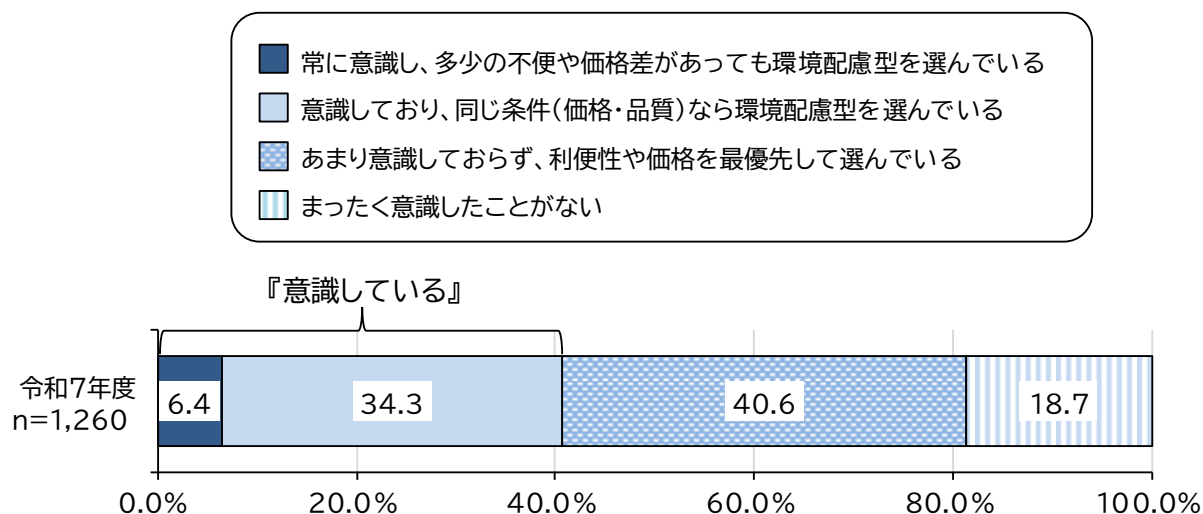
※岡山県エコ製品:県内で製造・販売されている使用を促進すべきリサイクル製品で県が定める認定基準を満たした製品のこと

環境にやさしい商品を意識的に選んで購入したことの有無について、「購入したことがある」(よくある～たまにある)と回答した人の割合は、22.3%となった。



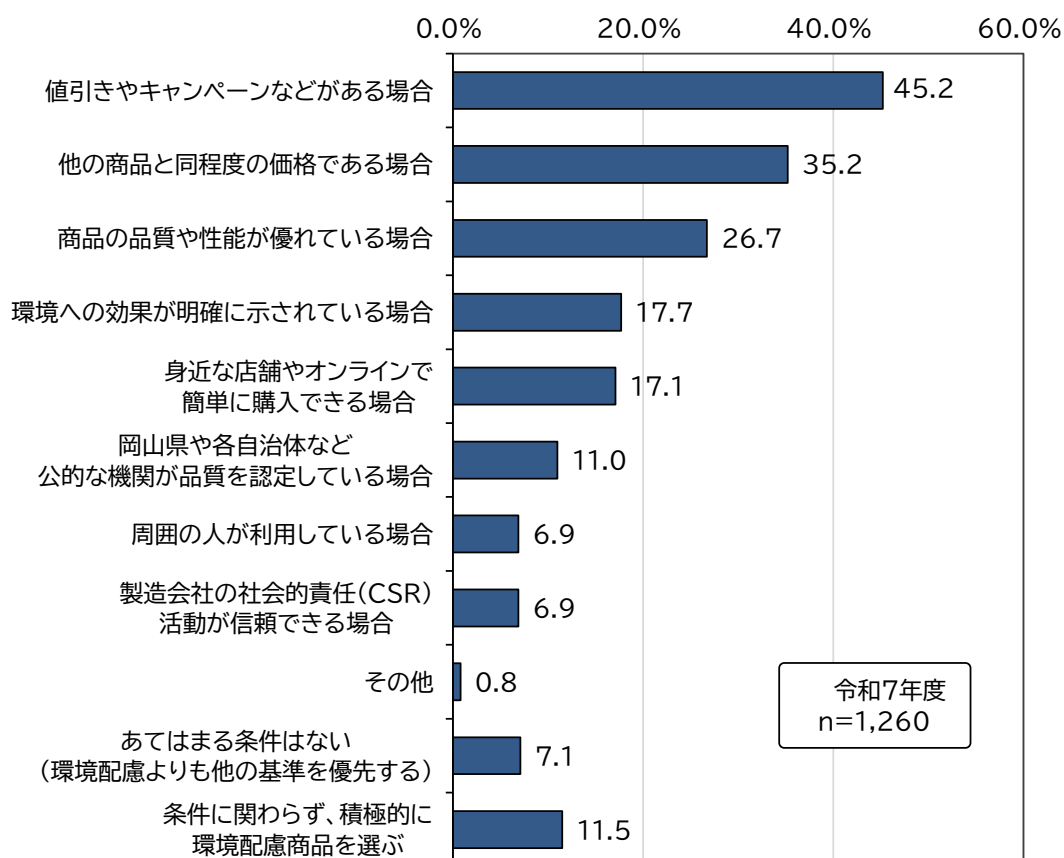
問32. あなたは日々の買い物において、環境への配慮(プラスチック削減、リサイクル素材の選択など)をどの程度意識していますか。(単数回答)

日々の買い物における環境への配慮の意識について、『意識している』(「常に意識し、多少の不便や価格差があっても環境配慮型を選んでいる」と「意識しており、同じ条件(価格・品質)なら環境配慮型を選んでいる」を合わせた割合)と回答した人の割合は 40.7%となった。



問33. 岡山県エコ製品など、あなたが環境にやさしい商品を他の似たような商品よりも優先して選ぶ(または選んでもよいと思う)には、どのような条件が必要ですか。3つまでお選びください。(複数回答)

環境にやさしい商品を購入するきっかけになる要素について、「値引きやキャンペーンなどがある場合」と回答した人の割合が 45.2%と最も高く、次いで「他の商品と同程度の価格である場合」(35.2%)の順となっている。



問34. あなたが、環境にやさしい商品の購入をためらう理由は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。(複数回答)

※n=問 33 で「条件に関わらず、積極的に環境配慮商品を選ぶ」を選択しなかった人

環境にやさしい商品の購入をためらう理由について、「価格が高い」と回答した人の割合が39.9%と最も高く、次いで「近所の店で、どれが該当する商品なのか見分けがつかない」(25.7%)の順となっている。

